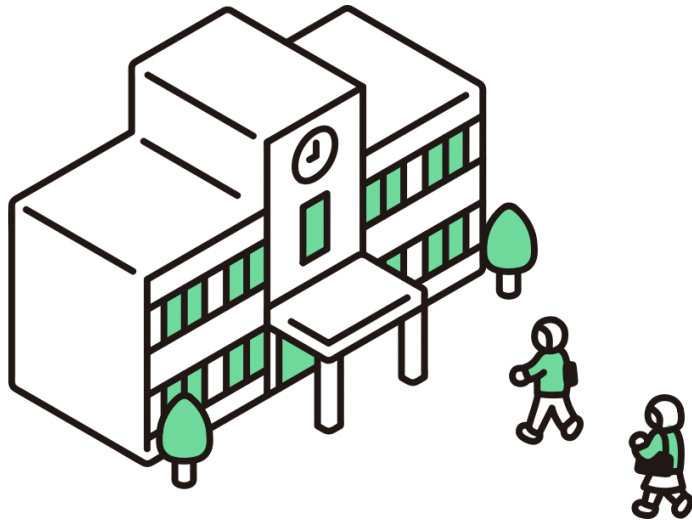


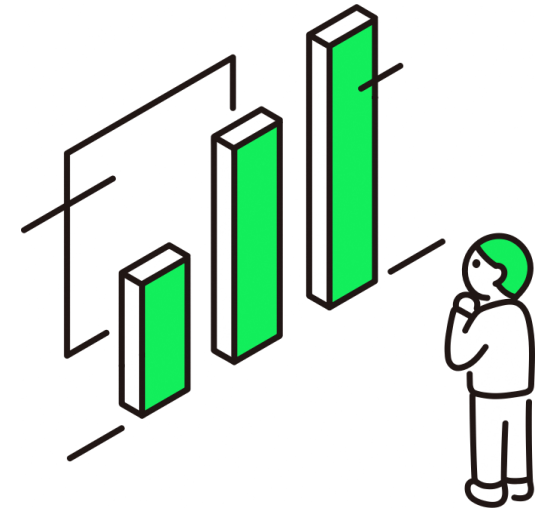
不登校の現状と 課題について



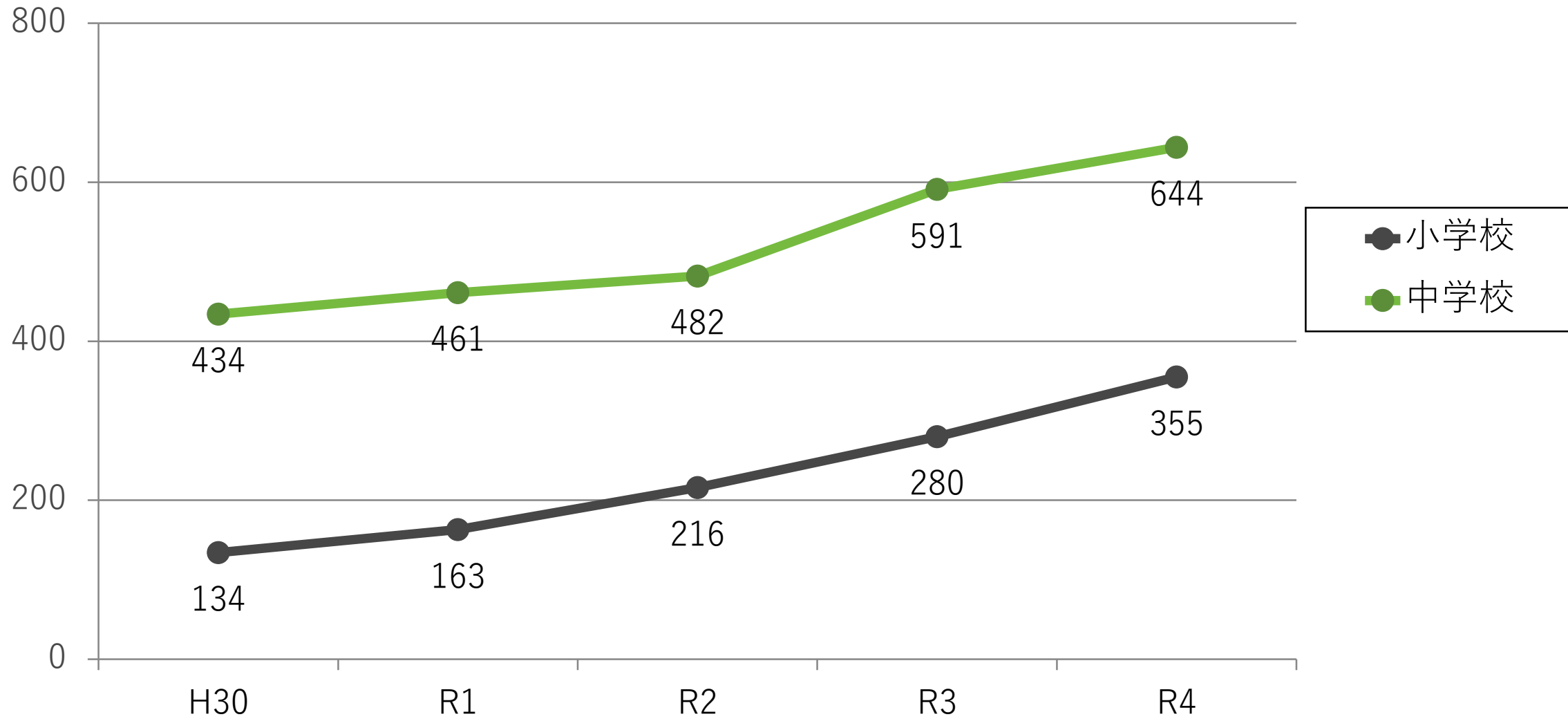
枚方市教育委員会
児童生徒支援課

1

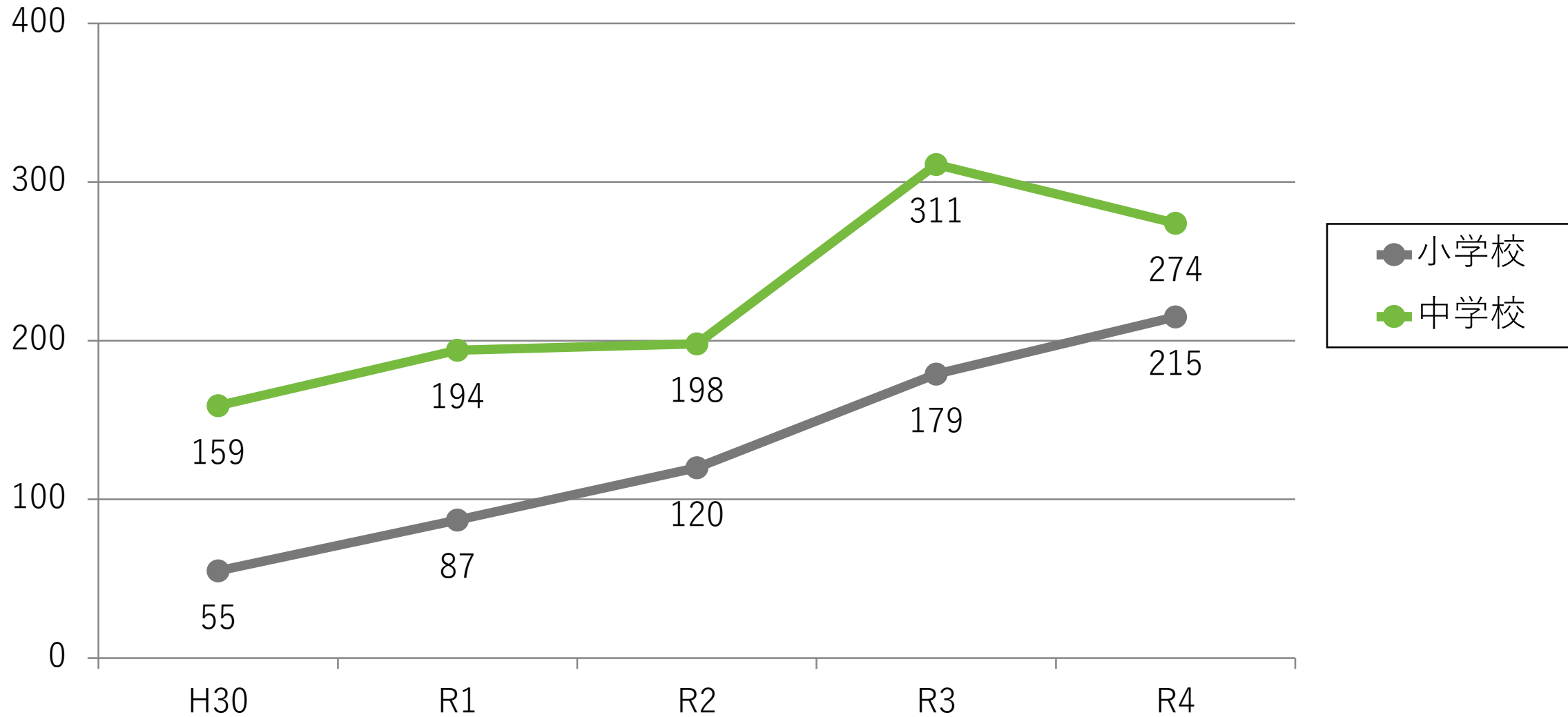
枚方市の不登校の現状



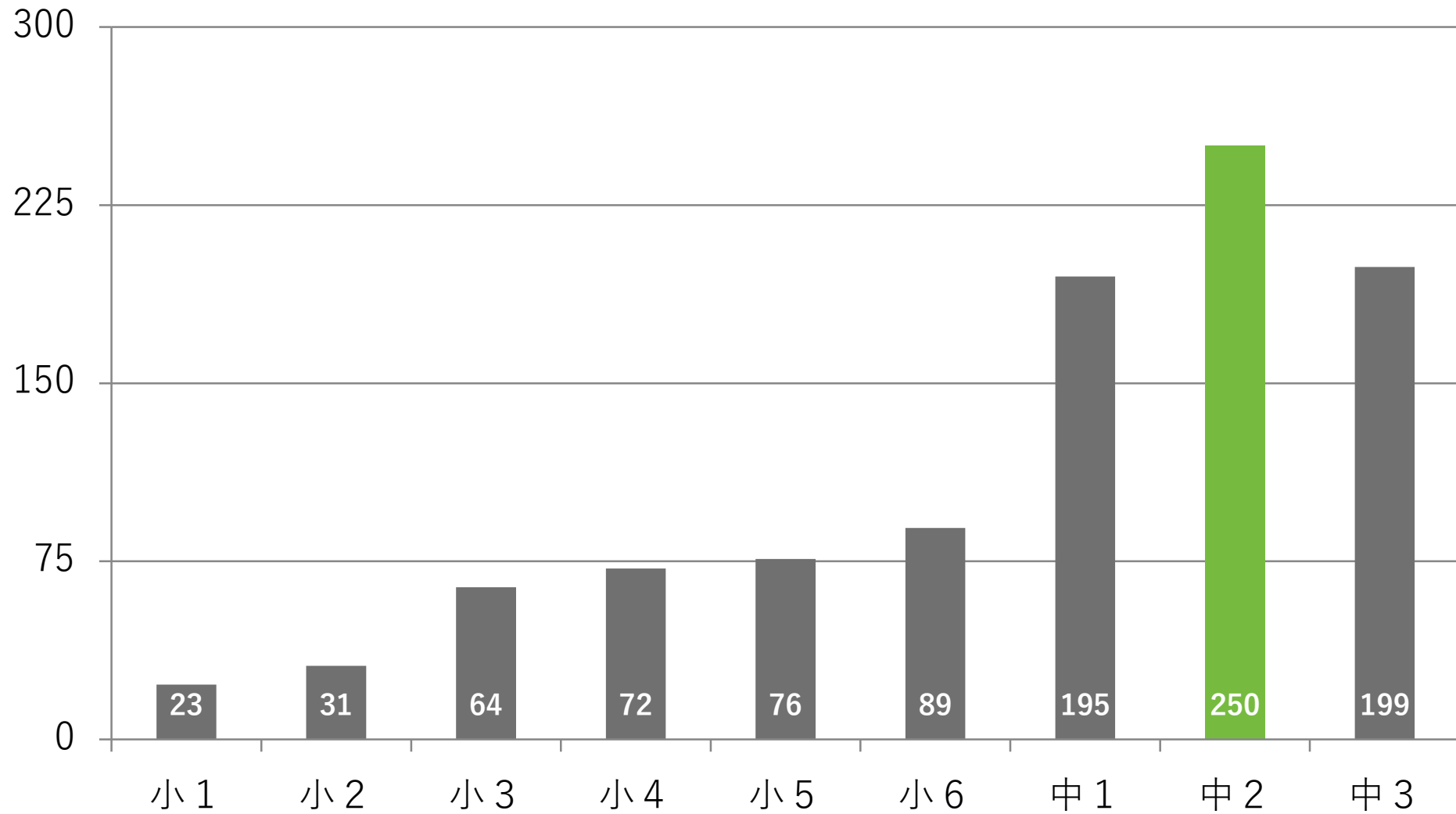
枚方市の不登校児童・生徒数の推移



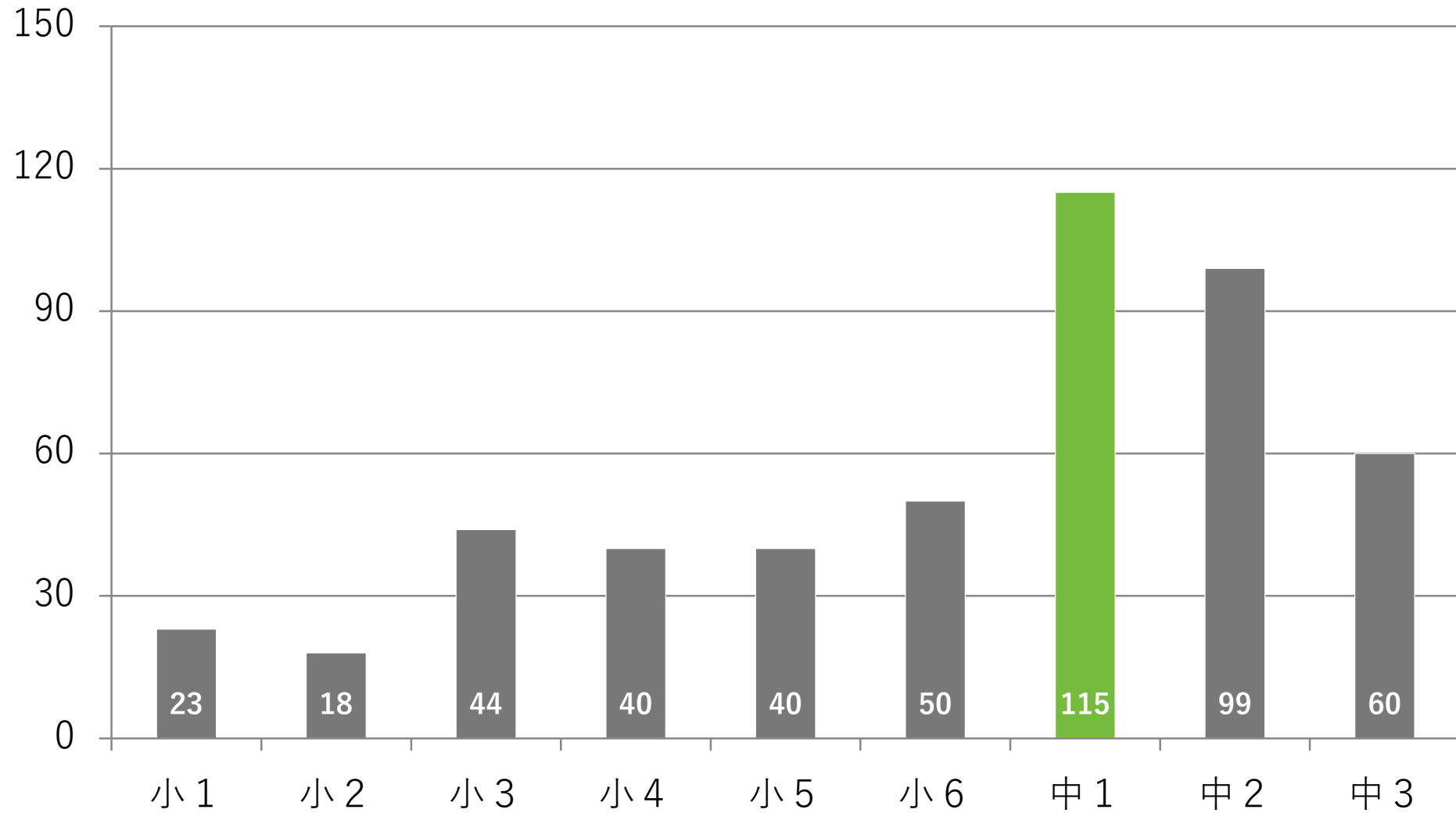
枚方市の新規不登校児童・生徒数の推移



令和4年度 不登校者数【学年別】



令和4年度 新規不登校者数【学年別】



令和4年度 不登校者数【新規不登校割合】

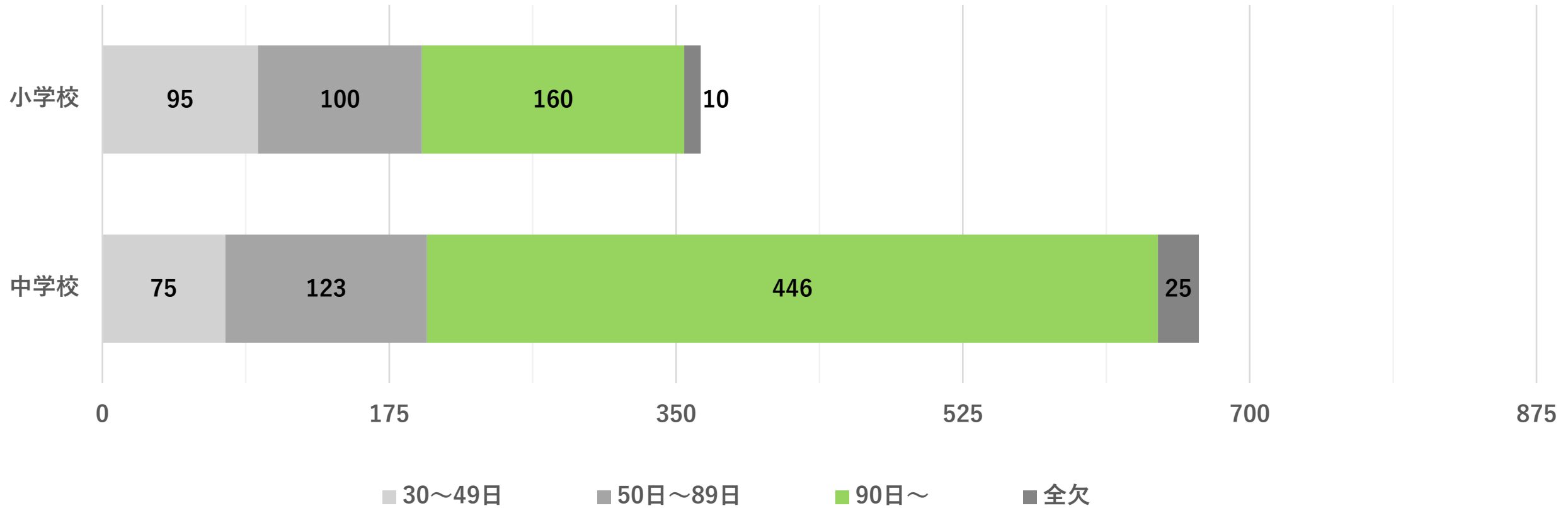
小学校

	小1	小2	小3	小4	小5	小6
不登校者数	23	31	64	72	76	89
新規不登校者数	23	18	44	40	40	50
新規不登校割合	100%	58%	68%	55%	52%	56%
継続	0	13	20	32	36	39

中学校

	中1	中2	中3
不登校者数	195	250	199
新規不登校者数	115	99	60
新規不登校割合	59%	39%	30%
継続	80	151	139

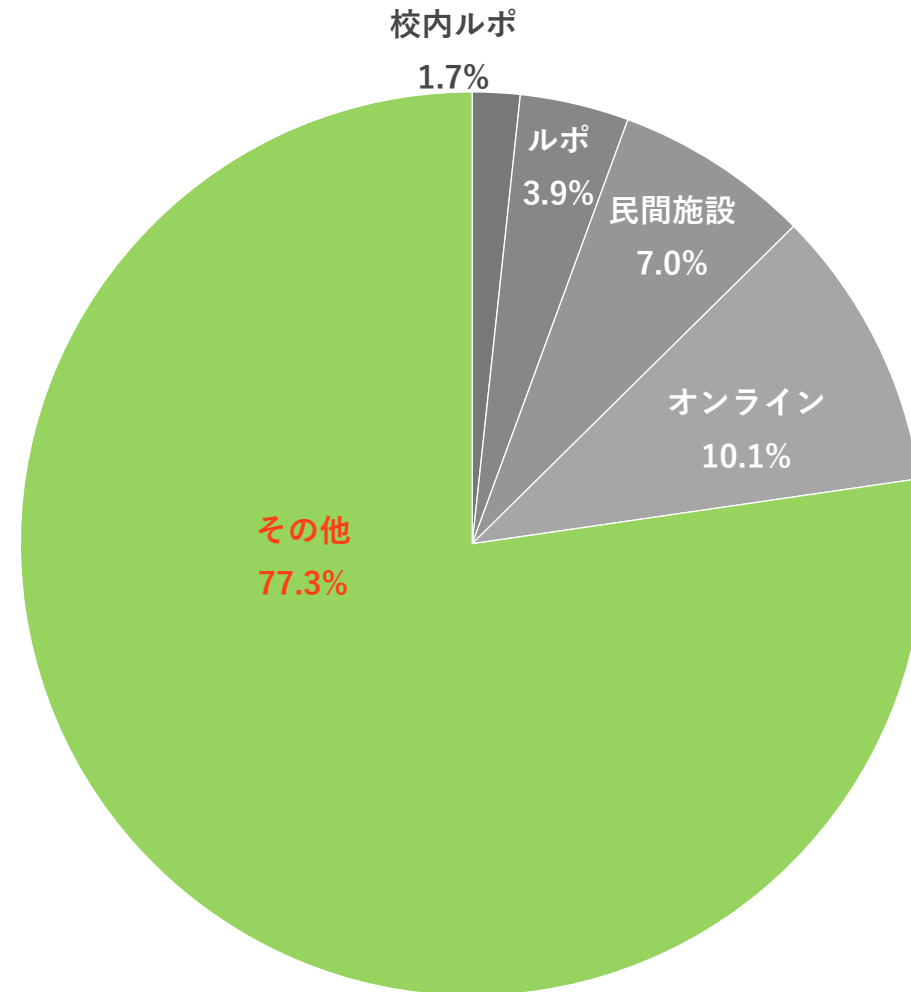
令和4年度 欠席日数別 不登校児童・生徒数



令和4年度 不登校児童・生徒 教育機会

小学校

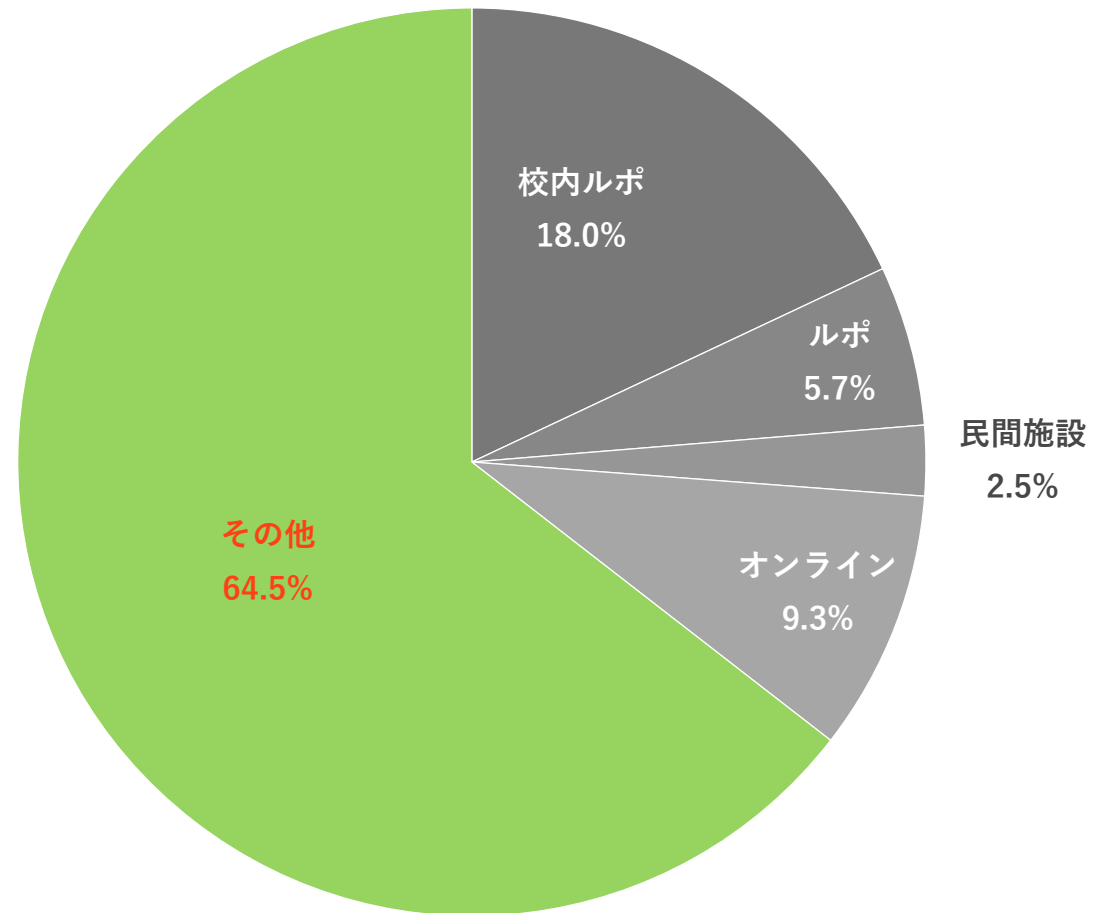
全欠以外の355人
(30日以上全欠含む)



令和4年度 不登校児童・生徒 教育機会

中学校

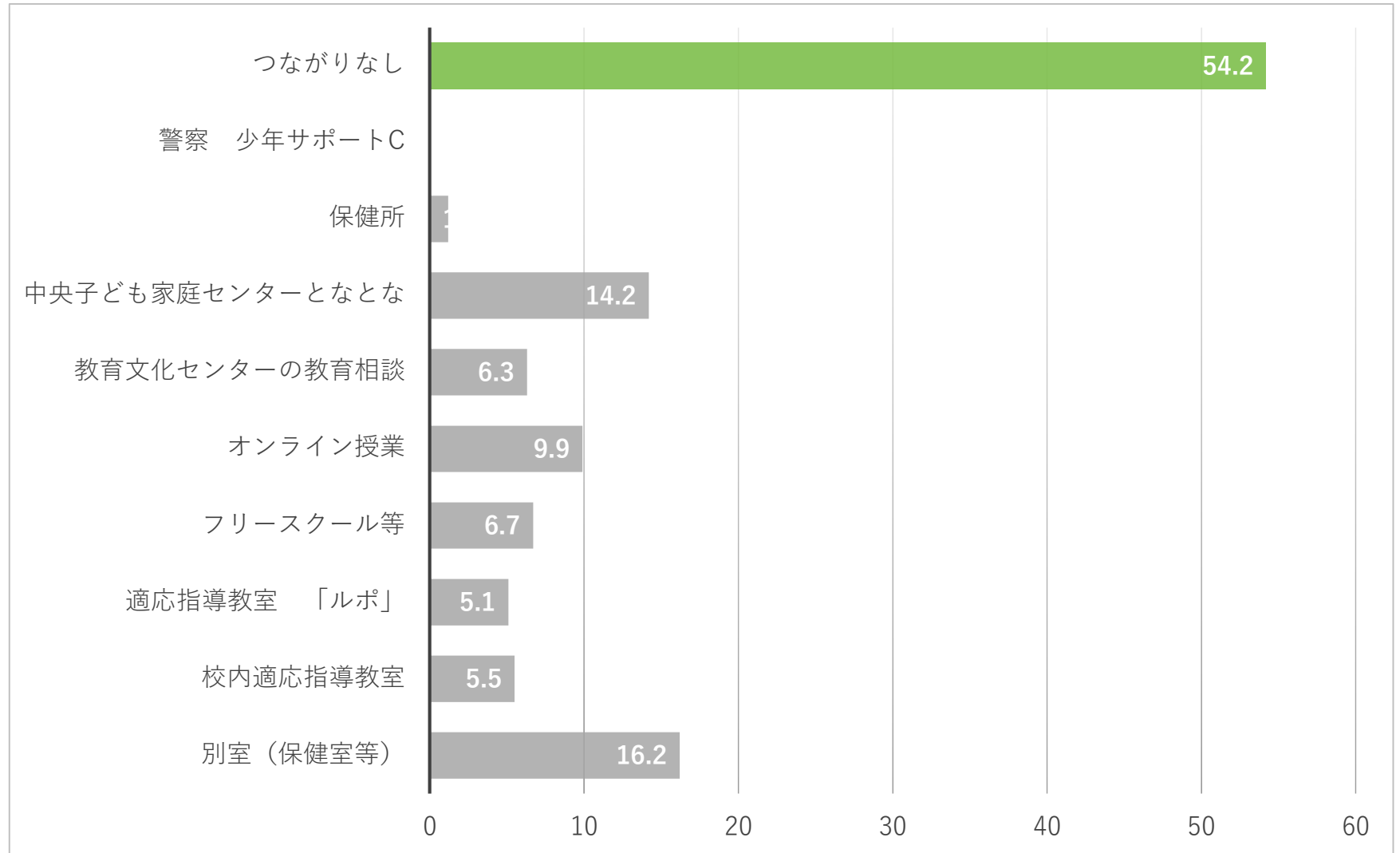
全欠以外の644人



(参考) 令和5年度 不登校児童・生徒 教育機会

小学校

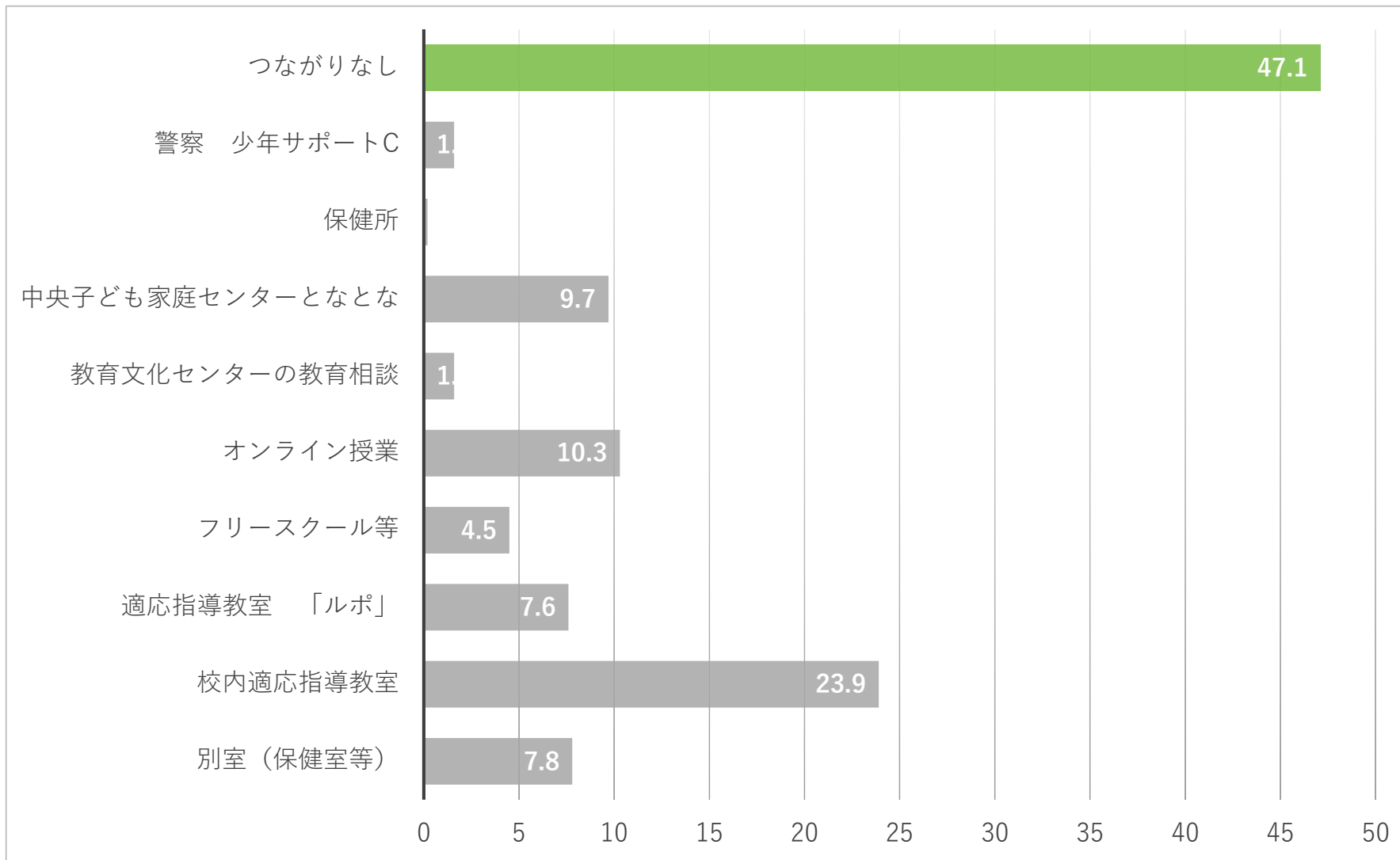
10日以上欠席者のうち、「不登校」として計上されている不登校児童・生徒への支援状況 (R5.1学期末 (%))



(参考) 令和5年度 不登校児童・生徒 教育機会

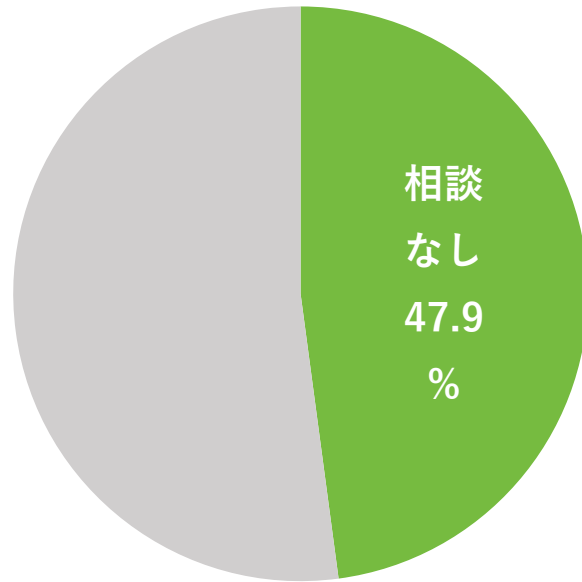
中学校

10日以上欠席者のうち、「不登校」として計上されている不登校児童・生徒への支援状況 (R5.1学期末 (%))

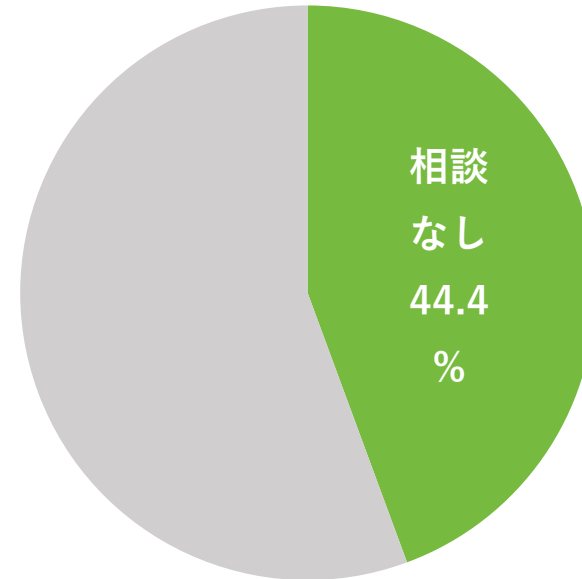


令和4年度 学校内外で専門家等の相談・指導を受けていない人数

小学校



30日以上の欠席
355名

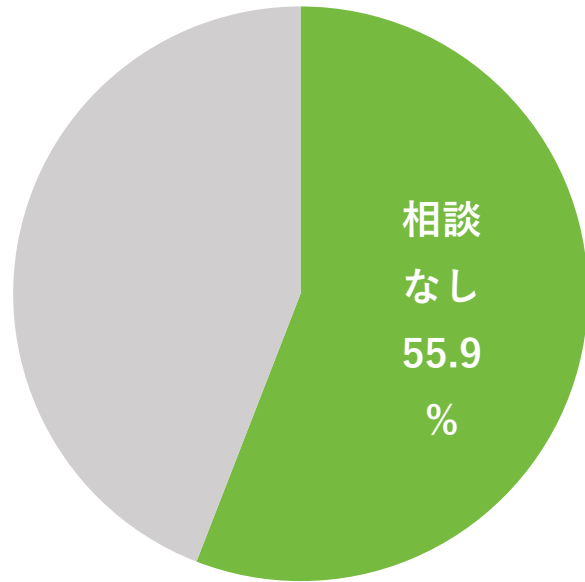


90日以上の欠席
160名

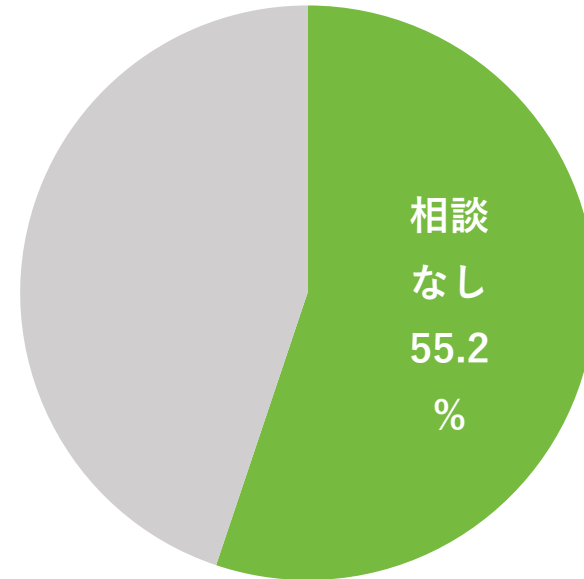
「相談なし」の場合でも専門家以外との相談をしている場合あり

令和4年度 学校内外で専門家等の相談・指導を受けていない人数

中学校



30日以上の欠席
644名



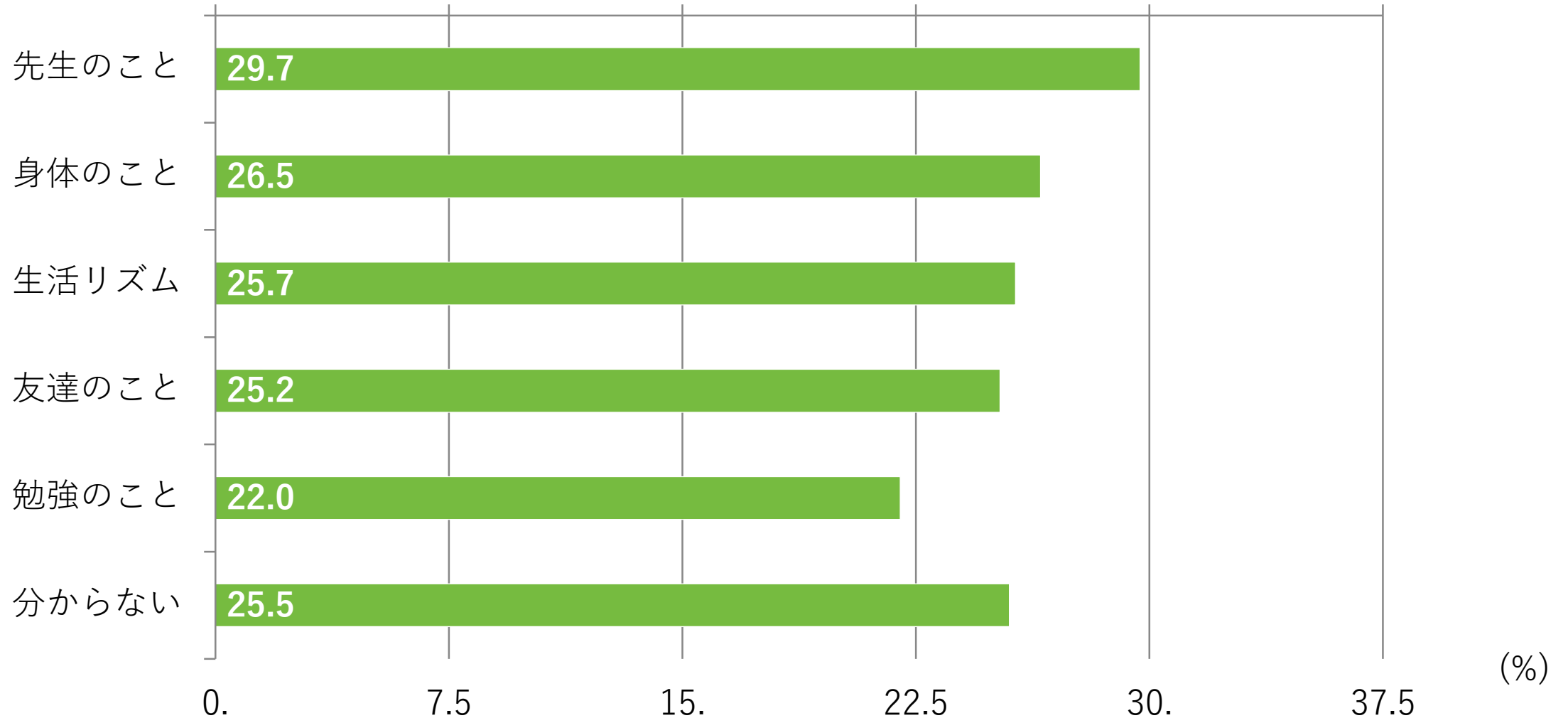
90日以上の欠席
446名

「相談なし」の場合でも専門家以外との相談をしている場合あり

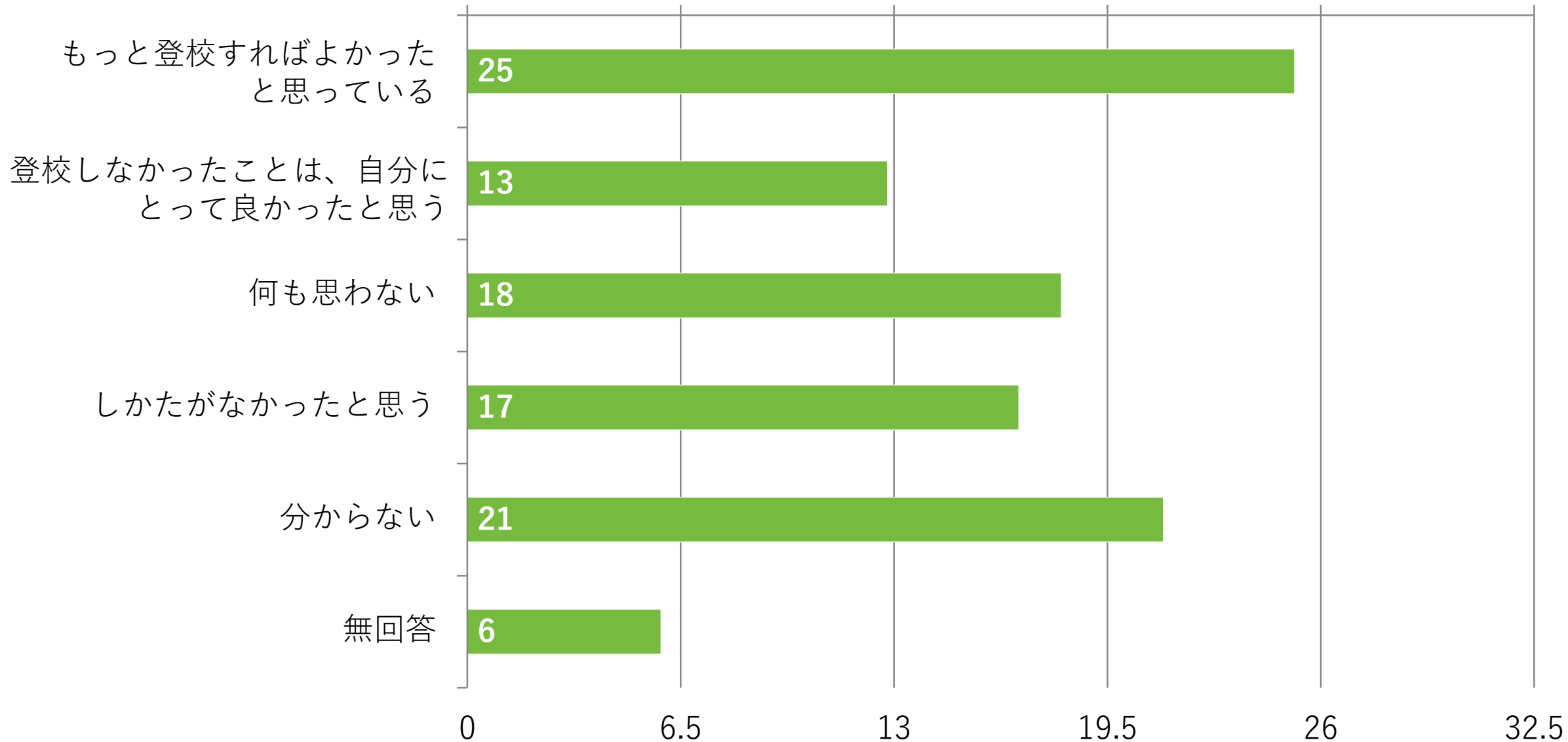
参考資料

文部科学省「令和2年度 不登校児童生徒の実態調査」

最初に学校に行きづらいつと感じ始めたきっかけ（小学校n=713）

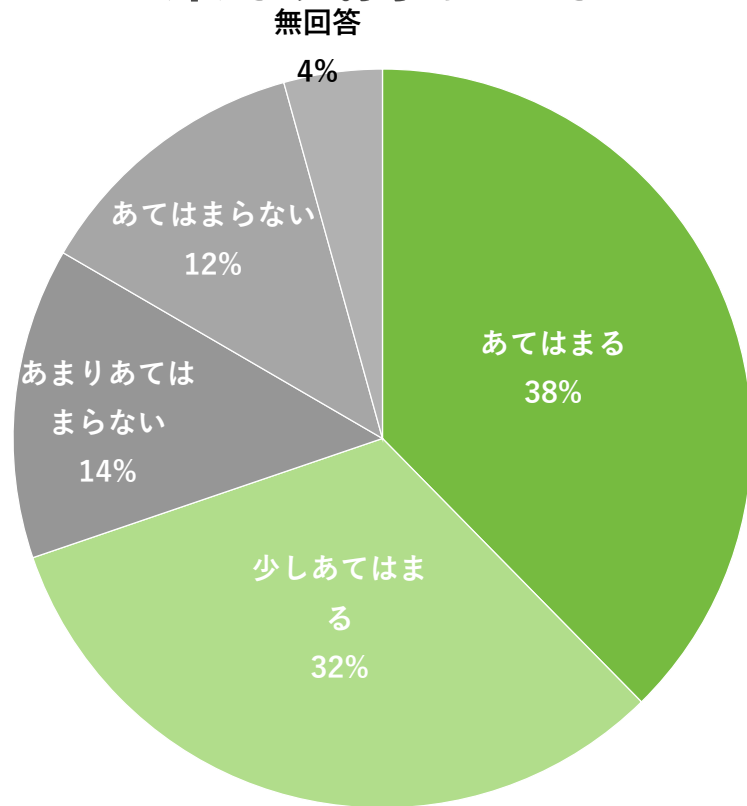


学校を多く休んだことに対する感想（小学校 n=713）

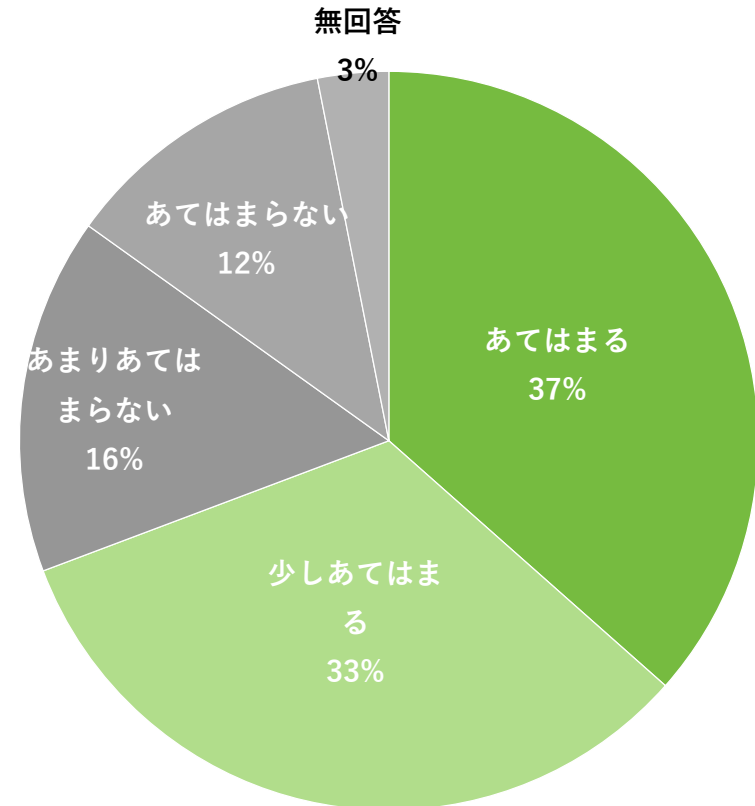


学校を多く休んだことに対する感想

ほっとした・楽な気持ちになった



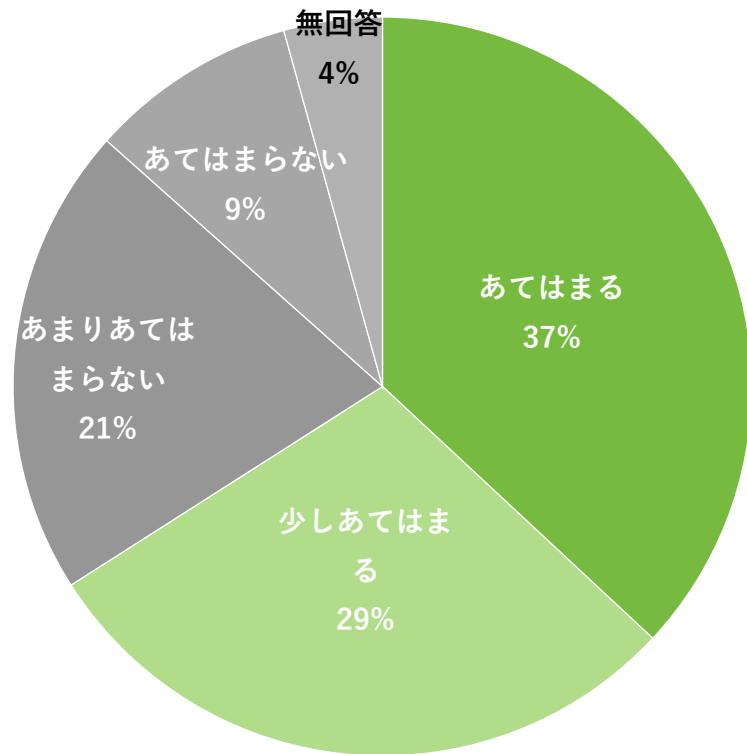
(小学校 n=713)



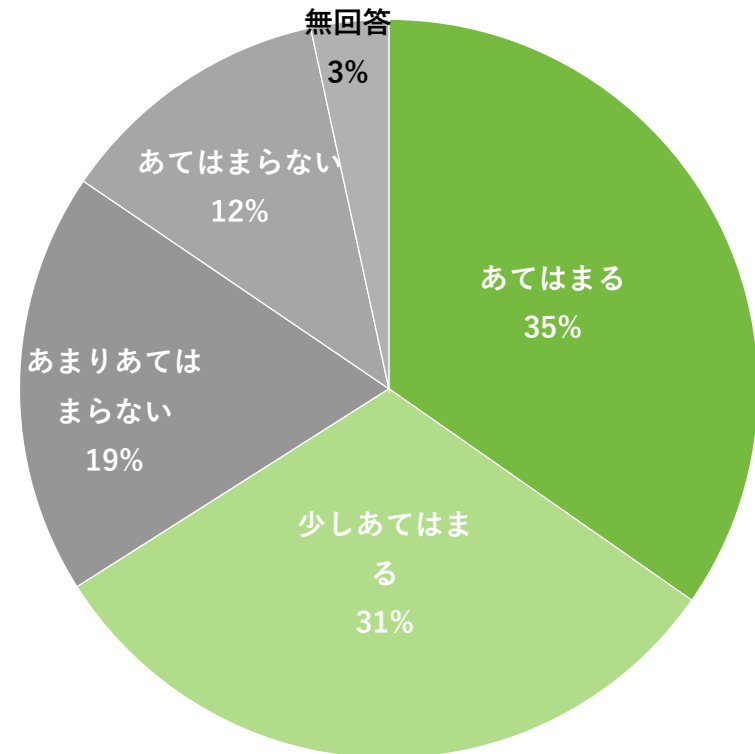
(中学校 n=1303)

学校を多く休んだことに対する感想

自由な時間が増えてうれしかった



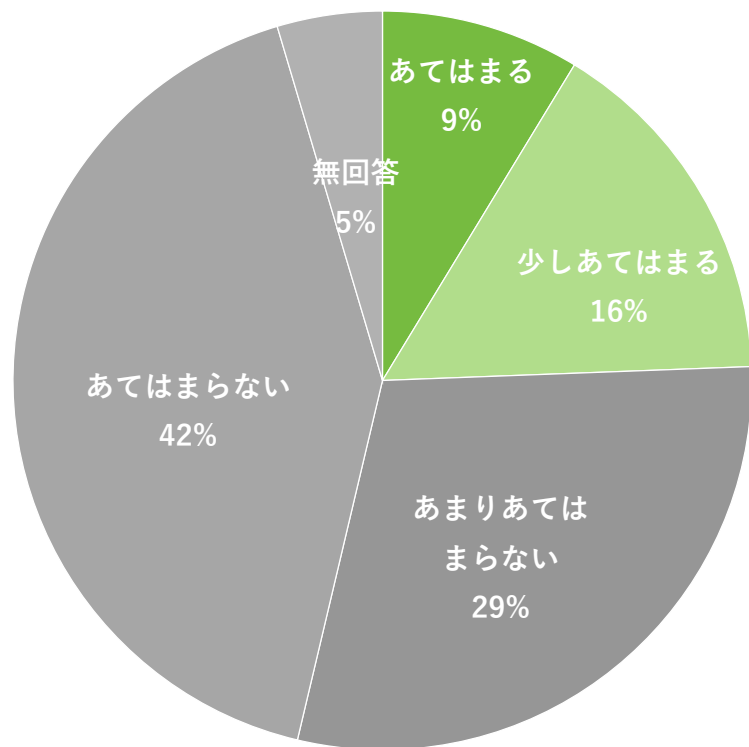
(小学校 n=713)



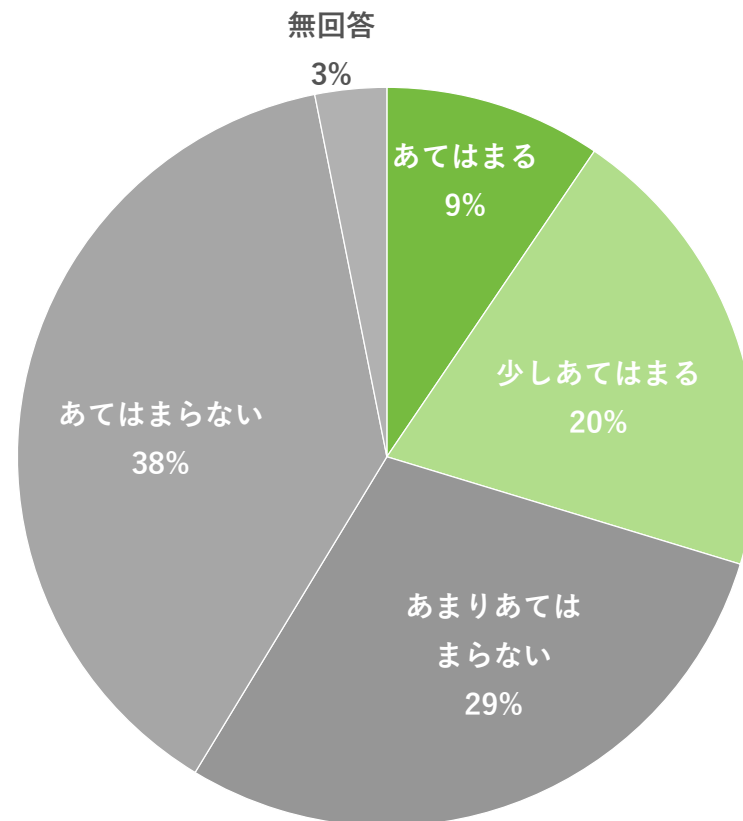
(中学校 n=1303)

学校を多く休んだことに対する感想

早く学校に戻りたかった



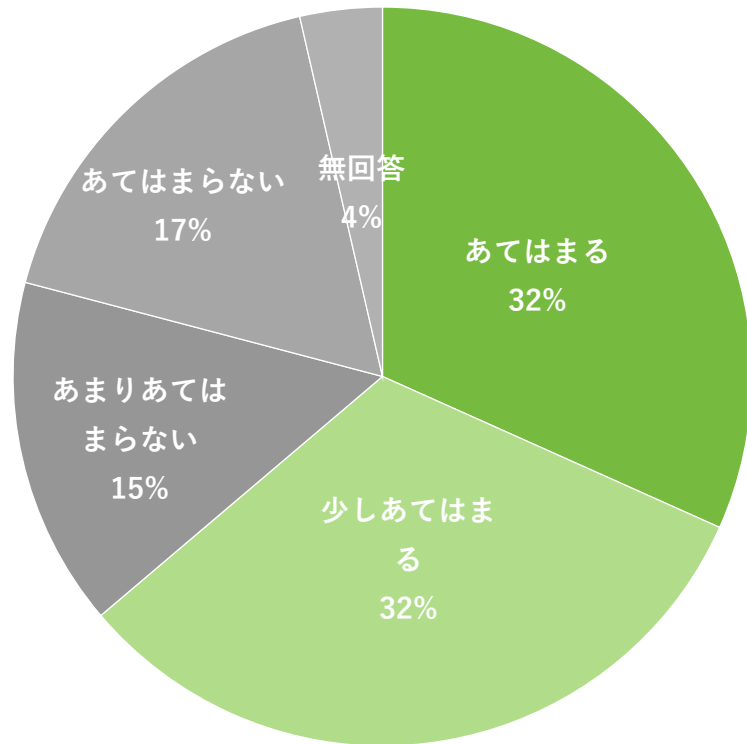
(小学校 n=713)



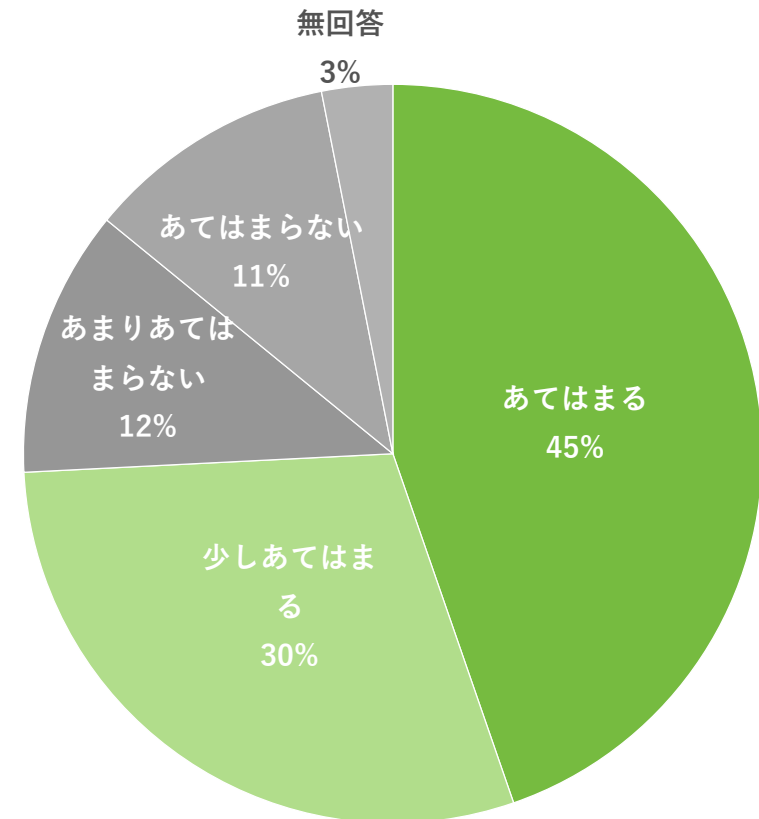
(中学校 n=1303)

学校を多く休んだことに対する感想

勉強の遅れに対する不安があった



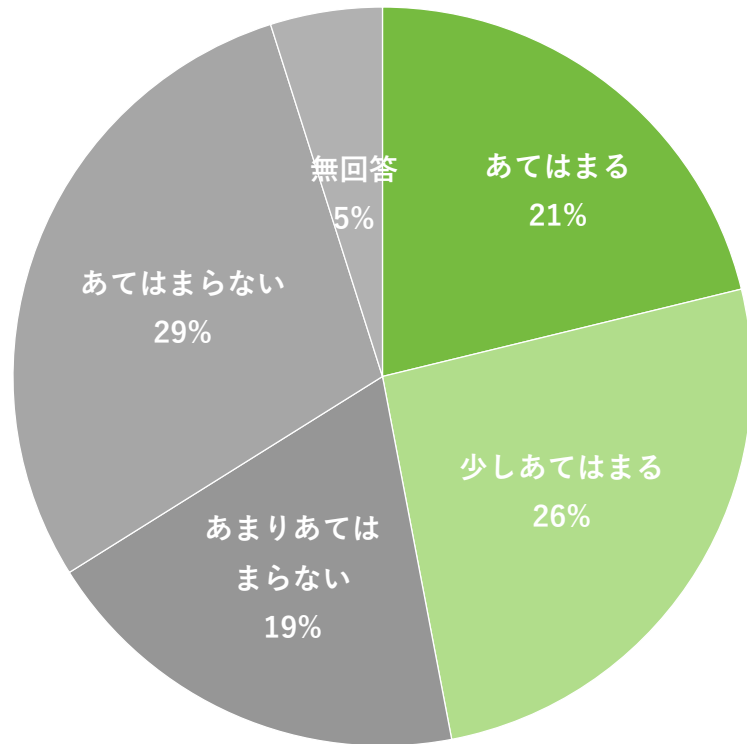
(小学校 n=713)



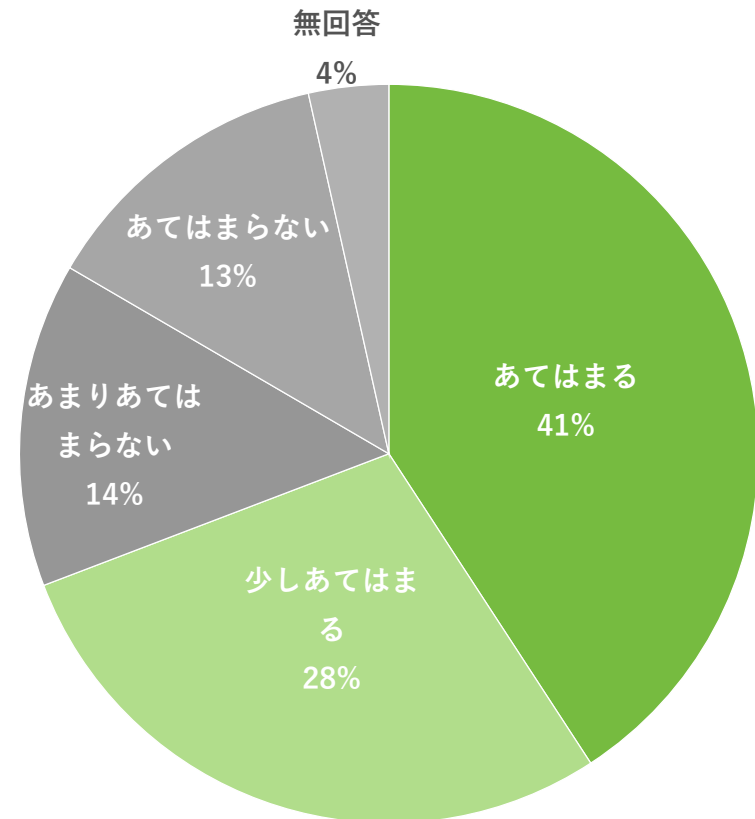
(中学校 n=1303)

学校を多く休んだことに対する感想

進路・進学に対する不安があった



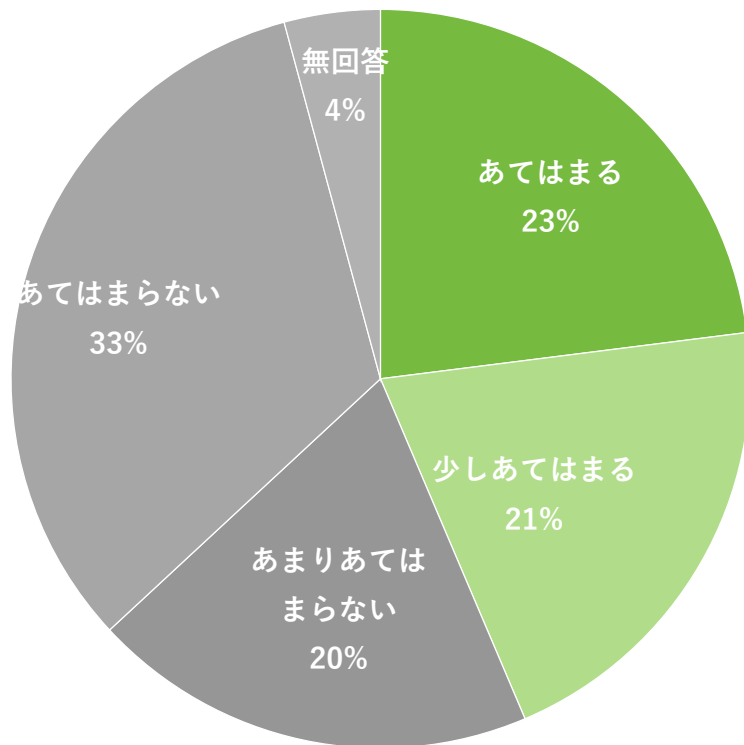
(小学校 n=713)



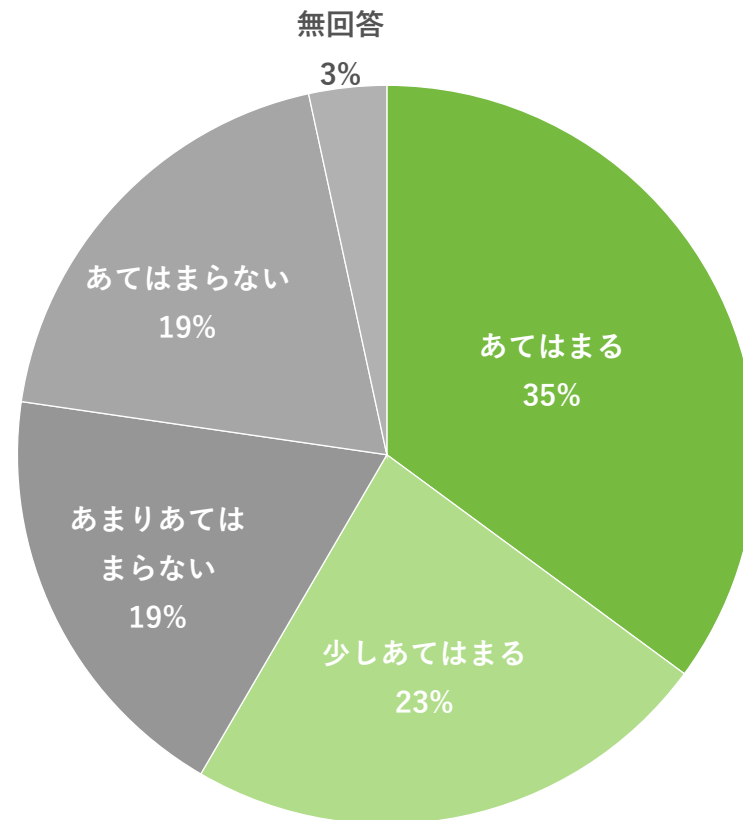
(中学校 n=1303)

学校を多く休んだことに対する感想

自分のことが嫌で仕方なかった



(小学校 n=713)



(中学校 n=1303)

どんな学校であれば、学校を休まずに通うことができたと思いますか。

(1)小学校

- ・無理しないでいいよとか、「〇〇をしなさい」など言わず、プレッシャーをかけられない。一人の行動が苦手なため、先生（担任以外）などと二人三人で行動ができればよかった。
- ・先生が生徒の体調の変化を分かってくれる。授業が分かりやすい学校。
- ・発達障害の理解のある環境。たとえば、怒鳴らない、怒らない、無理やりやらせないなど。
- ・高学年になると、「高学年だから出来てあたり前」「学校の代表としてはずかしくない行動を」など、プレッシャーをかけられすぎる。「がんばろう」の圧をかけないでもらえれば、少し気が楽になって、学校が好きになる。
- ・みんなが楽しく、変な校則がない。学力別でクラスを分けたり、みんなが行きたいクラスにそれぞれ行ったり、勉強はしっかりやるが、なるべく自由な学校。
- ・差別やいじめがない、個性を認めてくれる学校
- ・いじめがなく、困ったり悩みがあったりしたとき、すぐ相談に乗ってくれる先生たち。
- ・何でも強要しない。行きたくない時は、オンライン授業でも良い学校。
- ・静かで、勉強の進みがゆっくりな学校。
- ・学校という存在がいやだったから、無理だと思う。人間関係ではないので、どうしようもないと思う。
- ・どんな学校でも人が沢山居るかぎり行けない。

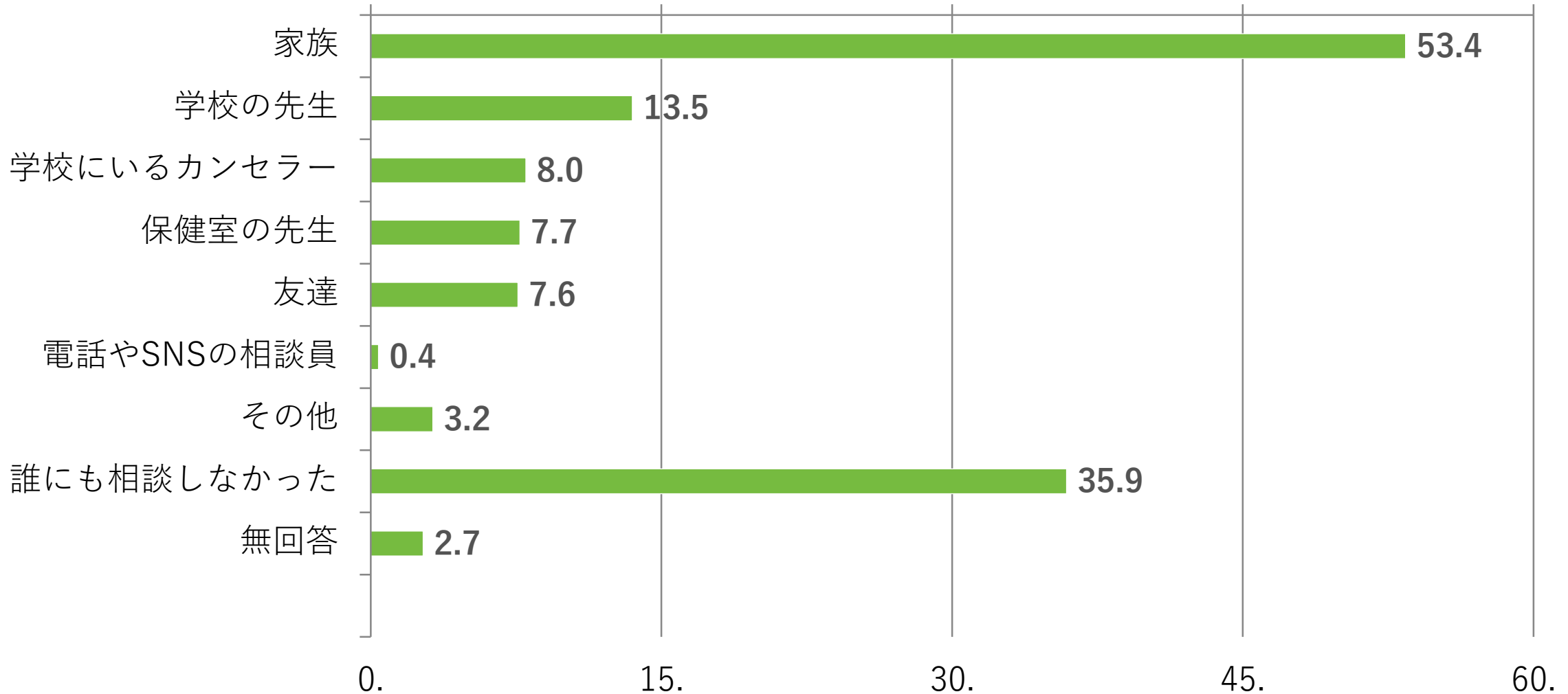
不登校の子どもたちの声

- 学校に行きたいけど行けない
- どうせ自分は不登校児だ
- 自分は必要とされていない
- ゲームでしか評価されない

不登校の保護者たちの声

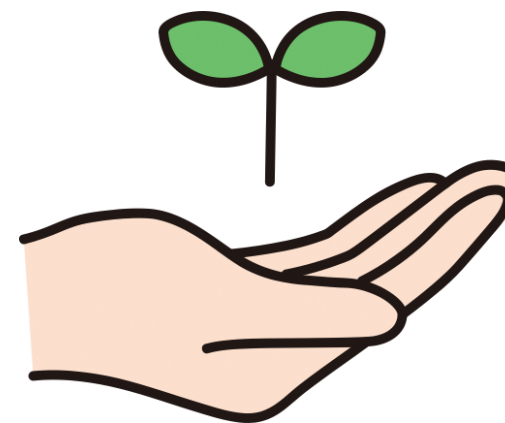
- 子どもが不登校になったらどこに相談したらよいかわからない
- 担任の先生以外にも相談できるのでしょうか
- 子どもが不登校になったので、仕事を辞めました

相談した相手（小学校 n=713）



2

枚方市の不登校に対する取組



不登校への対応（教育内容）

困難課題対応的生徒指導

課題早期発見対応

課題未然防止教育

発達支持的生徒指導

生徒指導提要より
生徒指導の4層

不登校への対応（教育内容）

困難課題対応的生徒指導

課題早期発見対応

課題未然防止教育

発達支持的生徒指導

児童生徒にとって学校が安全・安心な居場所となるための「魅力ある学校づくり」と「分かりやすい授業」の工夫

Hirakata ルールメイキングS 2023 【2校】
架け橋プログラム 【全小学校】
人権教育
支援教育
安心して対話できる授業作り

不登校への対応（教育内容）

困難課題対応的生徒指導

課題早期発見対応

課題未然防止教育

発達支持的生徒指導

児童生徒のSOSを出す力の獲得と教職員の児童生徒の変化に気づきSOSを受けとめる力の向上、及び教育相談体制の充実

SCの派遣

ぽーちの導入

心の視覚化

SNS相談

教育相談

【小6校、中19校、計22人】

【R5年2学期から本格導入】

不登校への対応（教育内容）

困難課題対応的生徒指導

課題早期発見対応

課題未然防止教育

発達支持的生徒指導

休み始めの段階でのアセスメント(スクリーニング会議)と、教職員、SC、SSW、保護者の連携・協働による支援の開始

SCの派遣

ぽーちの導入

心の視覚化

SNS相談

教育相談

【小6校、中19校、計22人】

【R5年2学期から本格導入】

不登校への対応（教育内容）

困難課題対応的生徒指導

課題早期発見対応

課題未然防止教育

発達支持的生徒指導

ケース会議に基づく、不登校児童生徒に対する家庭訪問やSC・SSW等によるカウンセリング、及び別室登校や校外関係機関と連携した継続的支援

不登校支援協力員 【小7校、中19校】
校内ルポ環境整備のための支援
SNS相談 【令和5年2学期から全校本格導入】
教育相談・となとな
SCの派遣 【小6校、中19校、計22人】
SSWの派遣 【8人で全校を巡回】
となとな
ルポ(オンライン含む)
民間支援団体等による支援

学校への支援

5つのレベルに応じた不登校対応例 (R3 年度保存版)

枚方市教育委員会
教育支援室

学校対応

連携対応

レベル1 連続欠席が2日、または月間の断続的欠席が5日以下

担任による電話連絡【実態把握】

★チェックポイント

- 欠席理由
- 医療機関への受診の有無について
- 次の登校時の連絡など
- ※欠席理由が不明瞭な場合、家庭訪問等で確認

安心できる
声かけ

次の登校
時の連絡



* 学級・学年・教科など、学校園内での情報提供 *

- ① 学級での様子
- ② 人間関係
- ③ 学習状況の確認
- ④ 部活動などの様子
- ⑤ スクリーニングシート

不登校対策委員会で検討

チェック

保健室への来室状況
なども有力な情報に
なります。

レベル2 連続欠席が3日以上、または月間の断続的欠席が10日以下

担任による家庭訪問【実態把握】

★チェックポイント

- 子どもの表情・様子
- 家庭の養育環境
- 子どもの生活リズム
- 保護者の見立て
- 子どもの友人関係
- 登校への意欲レベル
- 子どもと保護者の関係性

家庭の思いを尊重
した態度で実施



* 生徒指導・学年・委員会・SC・SSW との連携 *

- ① 養育環境
- ② 学校での様子
- ③ 学習状況
- ④ 過去の欠席状況
- ⑤ 支援を要する場合の対応

ケース会議

情報共有した内容
は、学校全体で共
有する。

レベル3 長期欠席（学期内で10日以上、年間30日以上）かつ、家庭と連絡が取れる状態

① 学校とのつながりを切らない

- ・電話・タブレットを活用した継続的な連絡、家庭訪問
- ・行事への参加の仕方も家庭と相談

② 保護者、本人の意向の確認

- ・学習の仕方の確認（タブレットの活用等）
- ・SC、SSW等専門家へつなぐ
- ・別室対応（校内適応指導教室）

③ 校内体制の確保（人員、時間、場所）

④ 協力体制の確立（他学年、支援学級、管理職など）

学校へ行くことをゴール
とせず、家庭の意向に沿
った登校の仕方を模索す
る



* 学校外の組織との連携 *

- ① 枚方市適応指導教室「ルポ」（毎年登録・入室手続きが必要）
枚方市教育文化センター別館 1F (TEL: 050-7102-3154)
 - ・登室・訪問指導
 - ・学校と連携・出席扱い(校長裁量)
- ② 院内学級
- ③ フリースクールなど
- ④ その他必要に応じてつなぐ関係機関
 - ・医療・診療内科（発達課題）・少年サポートセンター（非行）など

5つのレベルに応じた不登校対応例

欠席日数に応じた対応例や関係機関との連携方法を
示し学校を支援

レベル4 長期欠席（学期内で10日以上、年間30日以上）かつ、家庭と連絡が困難な状態

- ① 登校した子どもの様子をしっかりと把握する。
- ② SC、SSW等の専門家を交えたケース会議を行い目的意識を持って組織的に対応する。
- ③ 長期的に連絡が取れない場合、学校には公的関係機関への通知や通告義務があることを管理職と相談のうえ、保護者に説明する機会を設ける。

法的根拠
に基づいた
説明



* 重大事案を想定した連携する関係機関 *

区分	連携する関係諸機関
就学義務違反	教育委員会
虐待	子どもの育ち見守りセンター
非行	少年サポートセンター・スクールサポーター

レベル5 年間の出席が10日以下、かつ家庭との連絡が困難な状態

電話連絡や家庭訪問を行う中で、学校が家庭へアプローチしたことを形として残す。また、日々の学校対応を記録しておく。
・電話連絡の際、留守番電話にメッセージを残す。
・家庭訪問の際、手紙を投函しておく。 など

* 重大事案に発展しないための緊急的な連携 *

- ① 長期的に家庭との連携が取れず、「虐待」の疑いがある場合は、管理職に相談し緊急的に関係諸機関と連携する。
→教育委員会へ通告書の写しを提出
→子どもの育ち見守りセンターまたは中央子ども家庭センターに通告・状況に応じて警察に情報提供
- ② 学校対応について保護者から過度な要求がある場合。
→スクールロイヤーに相談（教育委員会を通して）

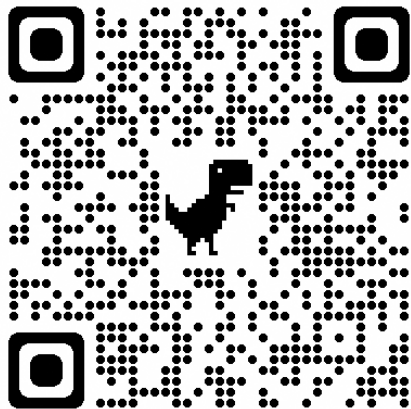
重要

- ① 子どもの命を守ることを最優先に考える。
- ② 家庭と連絡が取れる状態でも、子どもへのアプローチを忘れない！
- ③ 個人がケースを抱えることなく、組織的に対応する。
- ④ 普段の積み重ねが信頼を生むことを忘れない。

不登校対応（保護者への情報提供）

不登校支援ガイド

不登校の支援のあり方や、学校内外における相談窓口等について掲載



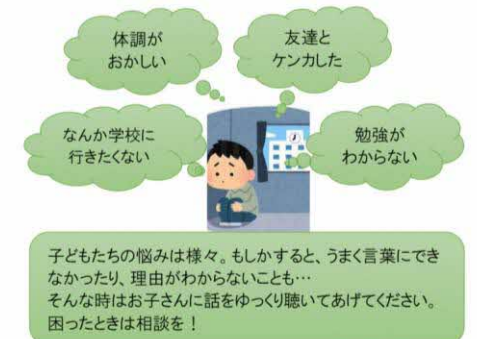
枚方市不登校支援ガイド

令和4年10月 枚方市教育委員会

不登校とは

不登校とは、ある年度間に30日以上登校しなかった児童生徒のうち、何らかの心理的、情動的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者をいう。

【引用】文部科学省「令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」 令和3年10月13日



不登校支援の考え方

- ◆不登校は、取り巻く環境によっては、どの児童生徒にも起こり得る。^{※1}
- ◆不登校の要因や背景、不登校である期間やその受け止め方は個々の状況によって多様である。^{※2}
- ◆「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。^{※3}

【引用】

・※1 文部科学省「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する基本指針」平成29年3月

・※2 文部科学省「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」令和元年10月25日

・※3 文部科学省「令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」 令和3年10月13日

相談してください

各学校

不登校児童・生徒及び保護者との面談やスクールカウンセラー[※]等の専門家を含めた支援体制により、個に応じた支援に努めています。

教育委員会

専門家等の配置や電話相談窓口の設置、教育文化センターにて教育相談や不登校の児童・生徒が入室できる適応指導教室を設けています。

関係機関

福祉部局等が児童・生徒及び保護者が抱えている様々な課題（親子関係、発達関係等）に応じた相談を行っています。

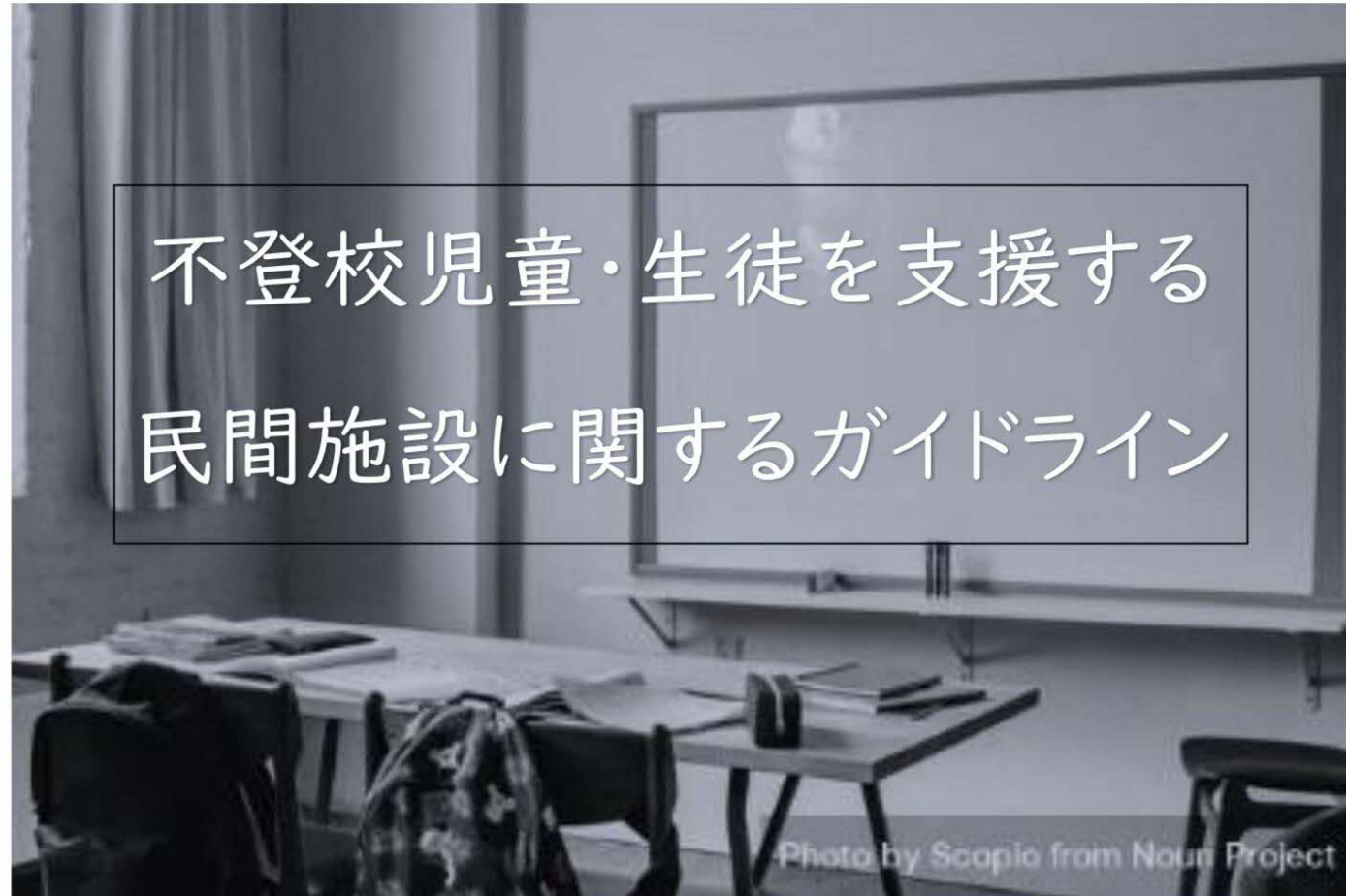
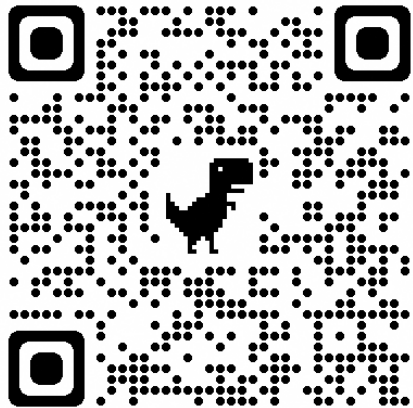
民間支援団体等

不登校の児童・生徒を受け入れ、その児童・生徒の状況に合わせた学習や体験等の様々な教育活動を行っています。

不登校対応（保護者への情報提供）

不登校児童・生徒を支援する 民間施設に関するガイドライン

市教育委員会として学校が、民間施設に通所する不登校児童・生徒の「出席扱い」について判断する際に留意すべき点を目安として示したガイドラインを策定



適応指導教室「ルポ」

設置目的

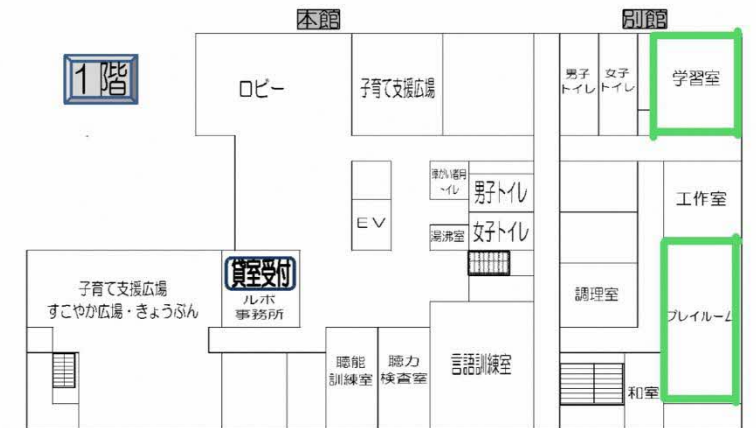
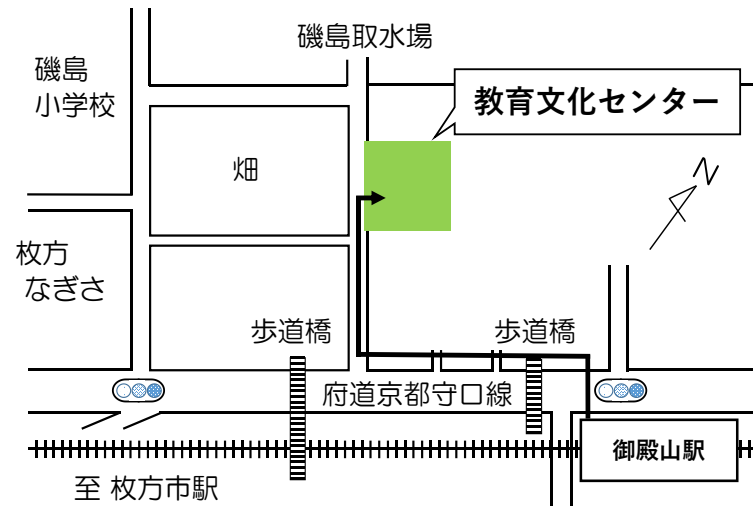
不登校状態にある児童・生徒に対し、人間関係のあり方や自己決定の方法等について学ぶ場を提供するとともに、多様な活動を通して個に応じた支援と指導を行いながら、該当児童・生徒の社会的自立をめざす。

開室日時

毎週 月～金曜日、午前10時から午後3時。(夏・冬・春休みは閉室します。)

開室場所

枚方市立教育文化センター1Fです。



適応指導教室「ルポ」

	午前（10：00～12：00）	午後（13：00～15：00）
月	個人活動 学習活動	グループ活動等
火	個人活動 学習活動	グループ活動等
水	個人活動 学習活動 カウンセリング（子ども）	グループ活動等 カウンセリング（保護者）
木	個人活動 学習活動 カウンセリング（子ども）	グループ活動等 カウンセリング（保護者）
金	個人活動 学習活動	グループ活動等 ミーティング（行事前）



キャンプ
ウォークラリー
調理実習
等

各種体験活動
の実施

適応指導教室「ルポ」

ルポで子どもたちに主に関わるスタッフ

適応指導教室指導員 2名
学生指導員(各曜日1~2名)

適応指導教室「ルポ」

学習支援

【内容】

ルポに登室する児童・生徒に対して、指導員及び学生指導員が個別に学習支援。
課題は自分で用意したものや学校から用意してもらったもの
ルポで学校のオンライン授業を受けるケースも

【実施日】

月曜日～金曜日の午前中



適応指導教室「ルポ」

グループ活動

【内容】

- ルポに登室する児童・生徒によるグループ活動
- ・トランプやボードゲームの実施
- ・多目的室での軽スポーツ(バドミントン、ドッジボール等)

【実施日】

月曜日～金曜日の午後(13:00～15:00)



適応指導教室「ルポ」

各種体験活動

【内容】

キャンプやウォークラリーなど、「ルポ」の外に出での体験活動を実施。

【実施日】

キャンプ 7月

ウォークラリー 10月

馬とのふれあい 10月、2月

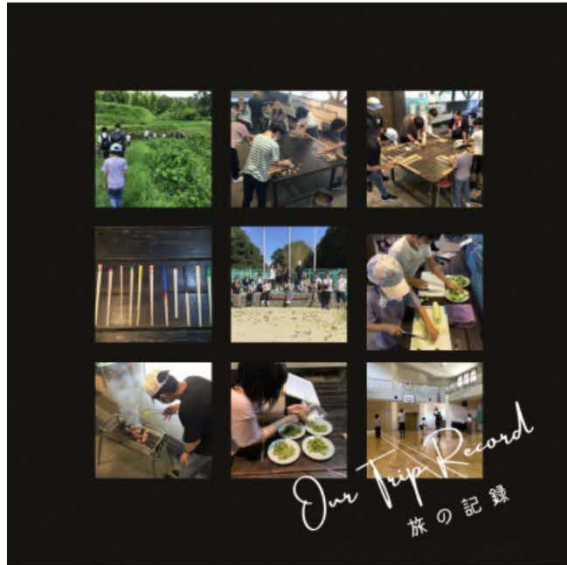
ルポブログ

https://hirakata.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=hirakata&type=2&category_id=4926



適応指導教室「ルポ」

【ルポ】 7月24日 ルポ日帰りキャンプ



7月24日(月)
枚方市野外活動センターに行ってきました。
例年、宿泊していたキャンプは今年度日帰りとなりました。
いつもより参加人数が多く、賑やかなひと時を過ごすことができました。

プログラムは以下の通り
1 お箸作り
2 BBQ
3 ミニオリエンテーション

BBQについては、なかなか火おこしができず
時間がかかりましたが、煙まみれになりながら
みんなで昼ご飯の準備をしました。

ミニオリエンテーションについては、
気温の高さとみんなの様子を踏まえて中止にして、
施設内のオリエンテーションホールで
少し体を動かして遊びました。

とても暑い中でしたが、みんなよく頑張りました。

【ルポ】 2023-07-26 10:44 up!

【ルポ】 さをり織り体験

ルポでは子どもたちが様々な体験ができるよう取り組んでいるところで
す。
6月に入り、福祉に関する学習も踏まえて、近隣の社会福祉法人であい共
生舎 ワークショップ虹 から「さをり織り機」をお借りしました。子ども
たちには自由に個性を表現できる「さをり織り」について話をした上で
「さをり織り」を体験できるようにしています。体験した子どもたちは、
無心に機織り機を動かしていました。



【ルポ】 2023-06-27 20:21 up!

【ルポ】 保護者会



ルポでは、保護者の方々が適切な情報や支援を得られるように、7月3日
(月)1学期の保護者会として、進路関係の講演会と保護者間の交流会を
行いました。
参加された保護者の方々は、高校卒業資格の条件等の説明を熱心に聞かれ
るとともに、個々に質問もされていました。
ルポでは、今後も同様の機会を設け、保護者の方々が少しでも安心してで
きるような支援に努めます。

【ルポ】 2023-07-07 23:17 up!

適応指導教室「ルポ」

職場体験(図書館)

【内容】

枚方市中央図書館の協力を得て、ルポに登室する中学生を対象に実施。

【実施日】

11月下旬を予定(R5年度)



適応指導教室「ルポ」

カウンセリング

【内容】

ルポに登室する児童・生徒およびその保護者のカウンセリング

【実施日】

毎週水曜日と木曜日(R5年度)



適応指導教室「ルポ」

訪問指導

【内容】

ルポに登録された児童・生徒のうち、訪問指導が適切と認められた者に対しての学生による訪問指導。学習支援を行う家庭教師ではなく、話し相手となり社会的自立をめざす。

【実施日】

週1回 2時間以内

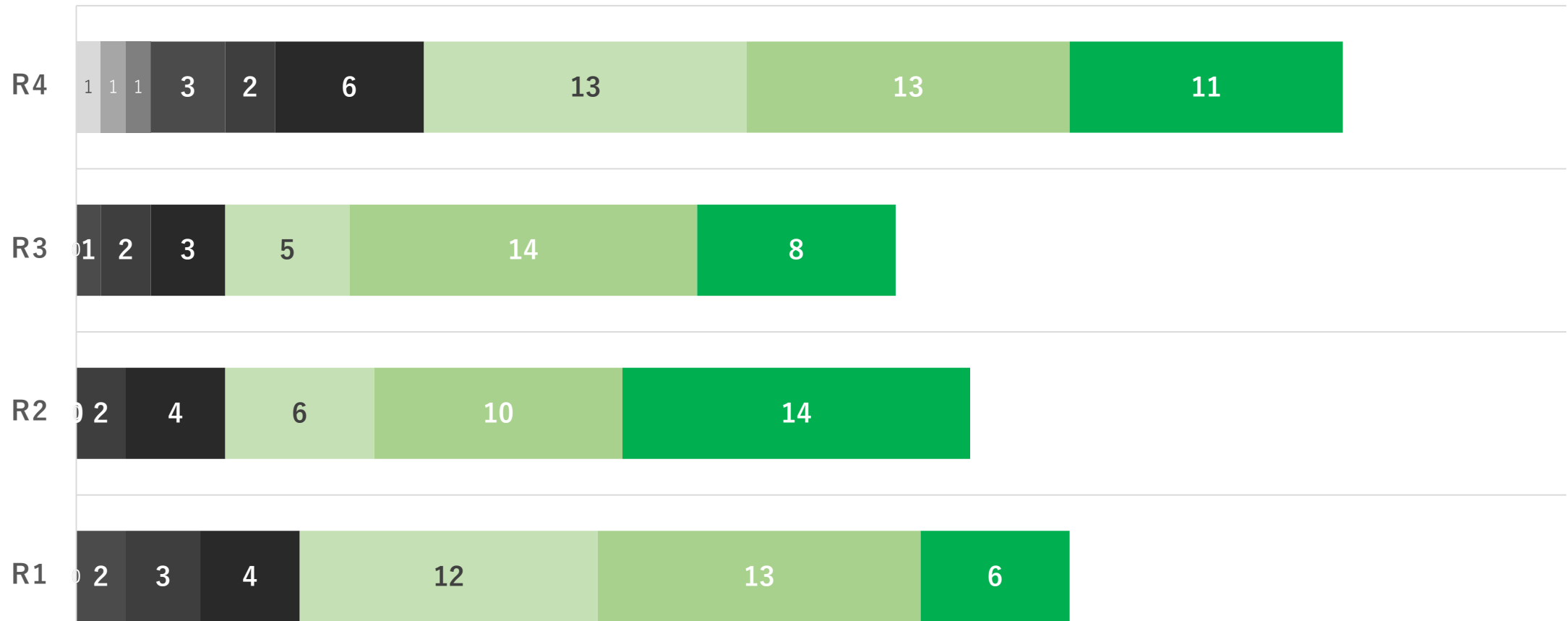
※要保護者在宅

※学生指導員による訪問指導

適応指導教室「ルポ」

登録人数

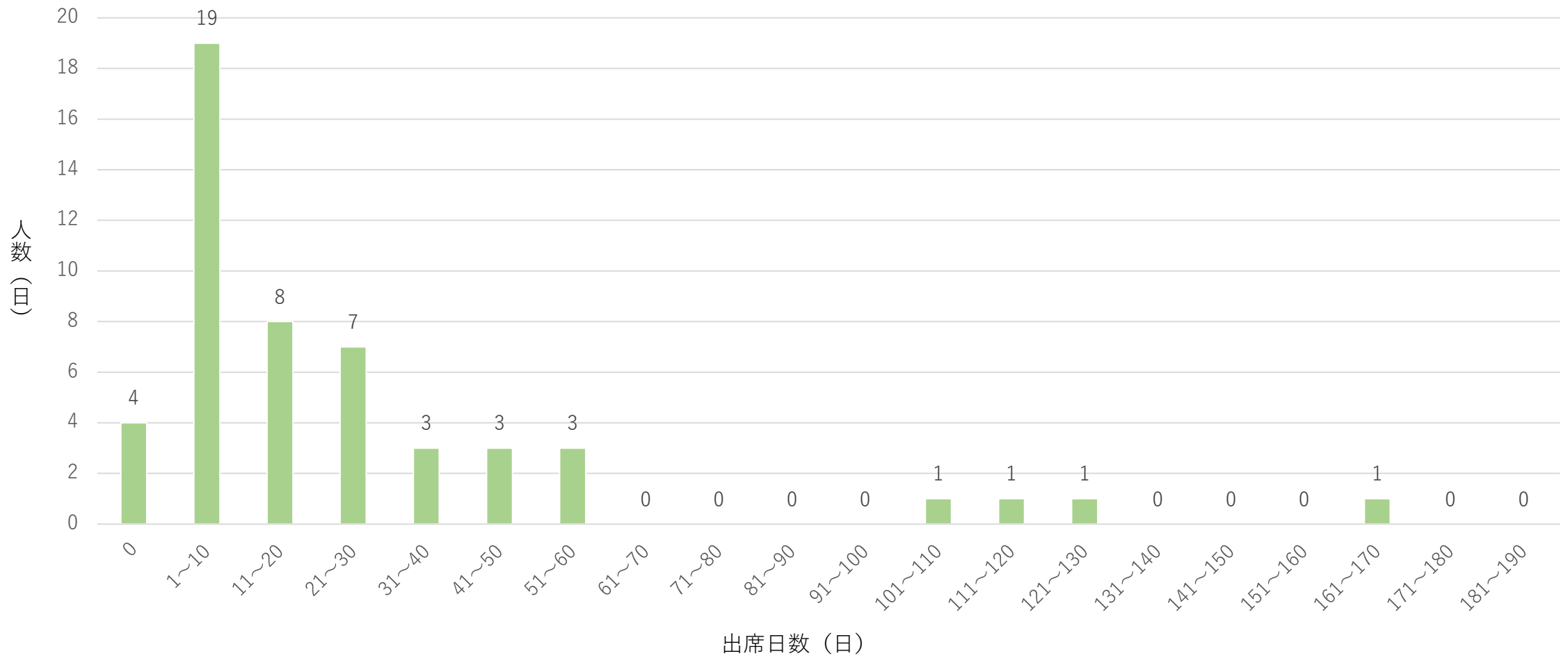
■ 小1 ■ 小2 ■ 小3 ■ 小4 ■ 小5 ■ 小6 ■ 中1 ■ 中2 ■ 中3



R1~R3は小1~小3は0人

適応指導教室「ルポ」

令和4年度 ルポ登室日数別



適応指導教室「ルポ」

Minecraftを使った取組

参加

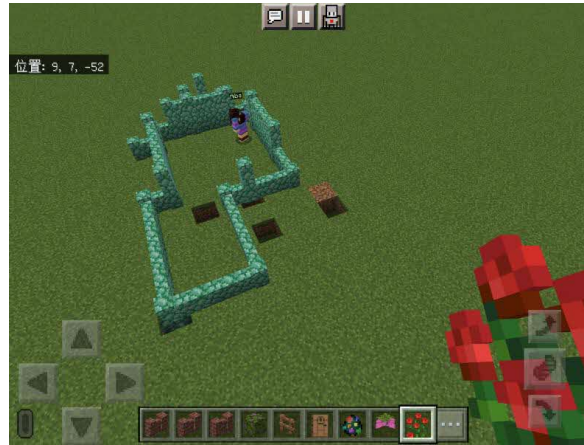
7月5日(水)

9名参加（内1名はオンライン）

8月18日(金)

4名参加（内3名はオンライン）

この取組時に初めて登室できた児童・生徒あり



子どもの感想

コメントとかしている人とながれたらいいな

みんながワールドを作成しているので、みんなの作ったワールドをまわりたい

（初めて登室した児童が）また参加したい

Minecraft Educationで 思いっきり遊ぼう！

令和5年7月5日(水)
13:00～14:00
枚方市立教育文化センター（ルポ）

または
自宅

※自宅から参加する場合は、
端末が2台あると、サポートがスムーズです。
① Minecraft操作用
② Zoom（オンライン交流用）

申し込みが終わったら…

6月30日(金)までに、専用のアカウントとログインマニュアルをルポの先生から渡します。

7月3日(月) 13:00～13:30 接続テスト
(好きな時間にマイクラフトに入ってきてね!Zoomも開設中!)

7月5日(水) 13:00～14:00 本番(12:30～Zoom入室可能)

(参考) 枚方市の校内ルポ

2022年度
児童生徒支援課

校内

かかわり方・声掛け

1. まずは、別室登校できただけでOK
2. 最初の出会いを大切にしている、学校の話はしない
3. 話す機会が少ない場合は、手紙を書く
4. 無理はさせないが、顔色を見ながらその子に応じた声掛けをする。「どの教科なら行けそう?」「宿題はだしたの?」など
5. 「困っていることない?」と声をかける
6. 一日一回は担任が顔を出す
7. 不登校支援協力員の勤務がない時は、教員で分担して毎日入室している
8. 心と体の状態を点数化(お天気で表現)
9. S・C通信を小中の全家庭に配布し、周知している
10. 1日のスケジュールは、原則本人が決定する(複数の選択肢と可視化)
11. 連絡指導は中学2年生の2学期から始める

適応指導教室の運営

学習支援

安心感

大切にされている

つながり

居場所

自己有用感

「気にかけているよ」のメッセージ

自己決定



2022年度 児童生徒支援課

適応指導教室の環境など

36. 座席を固定することで自分の居場所を確保している。不在時には配布物を担任や教科担当が机の上に置いている
37. ひとりひとりの座席をパーティションで区切り、パーソナルスペースを確保するとともに、円卓も用意し、みんなで話したりゲームしたりするスペースも用意している
38. 入室している子どものクラスの時間割や学年だよりを掲示
39. 長テーブルを卓球台に見立てて卓球をしたり、室内で体操したり体を動かす機会を設けている
40. 掃除時には教室の生徒と同様に掃除をさせている
41. 観葉植物やソファ、ぬいぐるみなどを置いて、教室とは異なる雰囲気づくりをして、リラックスに心がけている
42. 子どもの作品やクリスマスツリーなど季節感を感じられる掲示物を置くようにしている
43. 手作り教具・教材や手作りゲームを使ってコミュニケーションを取っている

職員間の情報共有

12. 登校したことを担任・教科担一人一人の机の上にメモを置いて知らせている
13. その日の内に入室時の様子を担任に伝える
14. 記録ノートを作成。不登校支援協力員、教員、S・C、S・S・W等で共有
15. 20分休みやランチタイムに情報共有
16. スタンディングデスクとホワイトボードを購入し、短時間で密度の高い交流
17. EXCELに全学年・1年間分を入力し、共有

運営方針

44. 担任・教科担当・不登校支援協力員・S・C・心の教室相談員などチームでかわる
45. 職員室に不登校生徒個人の封筒を用意し、配布物を教科担当などが入れ、期を過ぎず配布するようにしている
46. 登校状況がわかるように専用のホワイトボードを用意
47. 4月中旬から入室できる体制を取ったことで活用が広まった
48. 校内適応指導教室使用マニュアルや利用までの流れや過ごし方のルールを作成し、職員会議で周知、共通認識を持って対応する
49. 別室担当者(校務分掌に位置付ける)の明確化及び周知
50. iroom、ほっとルーム、ステップアップルームなど愛称で呼んでいる

家庭訪問・登下校支援・中学との連携 (小学校)

18. 最初は手紙を渡し、不登校支援協力員のことを知ってもらうことから始める
19. 留守等で会えなくても訪問した証として短い手紙を必ず入れる
20. 登下校時、2人きりになるといろいろ話してくれる
21. 兄弟姉妹で不登校の場合、兄や姉の所属している中学校と連携している

自己決定

29. 入室日のスケジュールを前日に考えさせる
30. 短期・長期目標を作成させる
31. 入室時の活動計画(記録)を作成しファイリング
32. 目標・スケジュールの設定にアドバイスする

カウンセリング・懇談

33. S・Cなど専門家によるカウンセリングにつながることを大切にしている
34. 家庭訪問や保護者懇談
35. 気持ちの表示と振り返りの記録(可視化)、子ども理解や懇談に活用

異学年交流・つながり

51. 異学年を交えて、行事内容や過ごし方の相談をさせる
52. 連絡に関する相談やアドバイスを自然とする場合もある
53. 調理実習や遠足(徒歩で近くの公園まで)に行く

学校訪問において担当教員・不登校支援協力員からお聞きした内容です。適応指導教室の運営の参考にしてください。

50

(参考) 枚方市の校内ルポ



パーティション等を利用して個別に学習できる空間

(参考) 枚方市の校内ルポ



円卓を用意し、みんなで
話したり作業ができる空間



カーペット等を置いて上靴を脱いで過ごす場所

(参考) 枚方市の校内ルポ



児童生徒の作品を掲示するコーナー

(参考) 枚方市の校内ルポ



学年や学校の行事予定がわかる掲示物



進路関係の掲示物

(参考) 枚方市の校内ルポ

こころの教室 登室カード


()年()組()番 名前()

()月()日()曜日

登校時間 ()時()分

下校予定時間 ()時()分

今日の体調に○をしよう



	予定	振り返り 何をしたか具体的に書こう！(例)ワークP12～13など すべての時間をそれぞれ何%ずつできたか書こう！
1		
2		
3		
4		
昼休み		
5		
6		

フリースペース
(担任に伝言、できたこと、明日やりたいことなど何でもあり)

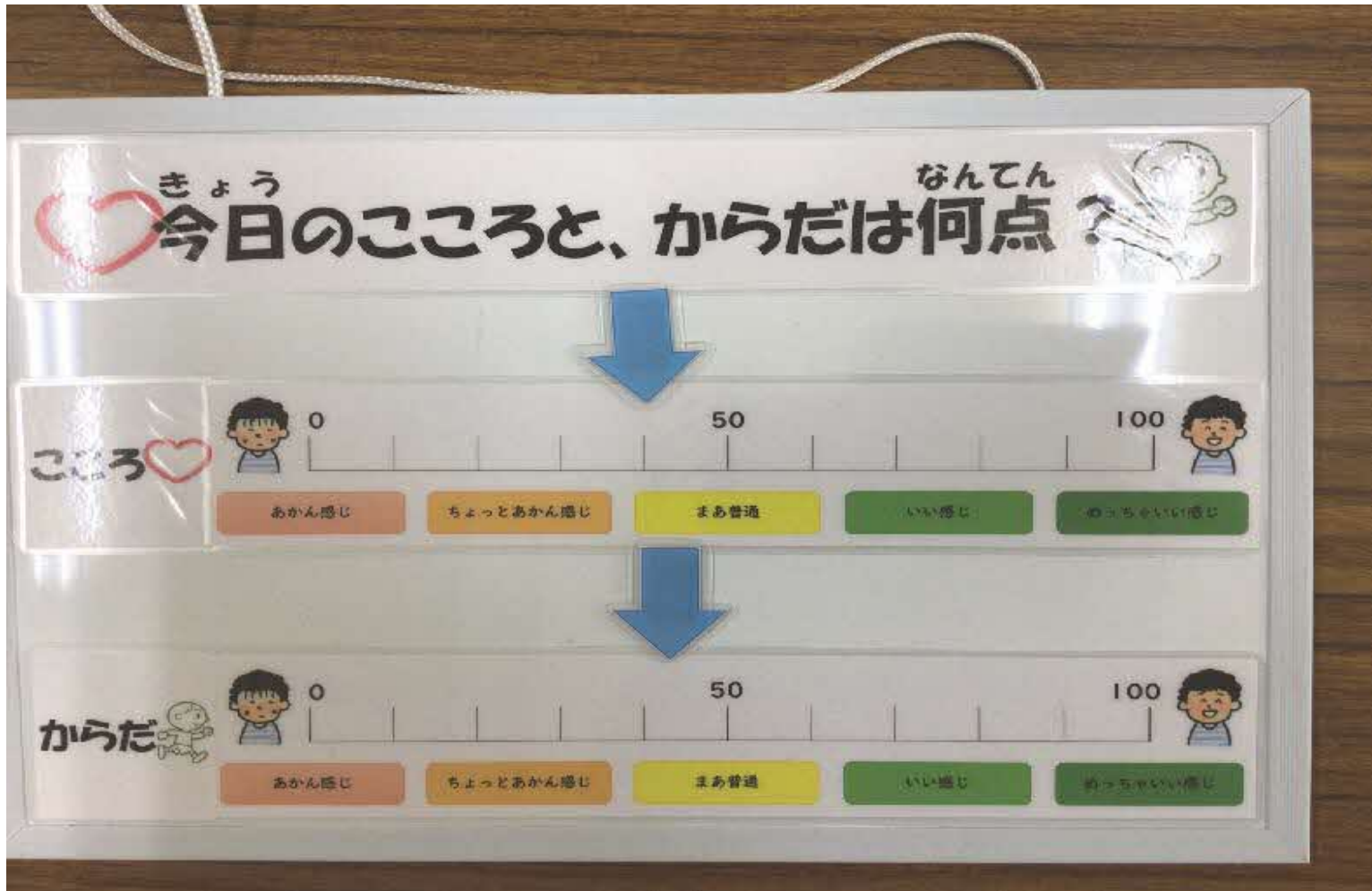
2022 年度 学習ルーム 利用記録表 月 日 No. _____

年組	年 組	年 組	年 組	年 組						
名前										
登校時刻	:	:	:	:						
登室時刻	:	:	:	:						
退室時刻	:	:	:	:						
下校時刻	:	:	:	:						
	教科	学習内容など	教科	学習内容など	教科	学習内容など	教科	学習内容など	教科	学習内容など
朝										
1	担当()		担当()		担当()		担当()		担当()	
2	担当()		担当()		担当()		担当()		担当()	
3	担当()		担当()		担当()		担当()		担当()	
4	担当()		担当()		担当()		担当()		担当()	
昼										
5	担当()		担当()		担当()		担当()		担当()	
6	担当()		担当()		担当()		担当()		担当()	
清掃										
終礼										

児童生徒が、気持ちとできたことを記入する工夫

1日の別室のようすを担当・教科担当で情報共有できる工夫

(参考) 枚方市の校内ルポ



「あかん感じ」「まあ普通」と関
西弁で表示し、矢印を自分で
移動させる工夫

(参考) 枚方市の校内ルポ

別室で安心して過ごせるように・・・

- ・教職員の配置や学習機会の整備などの組織的な運営
- ・本人の状況に合わせたプリントや課題の準備
- ・教職員やボランティア等による学習支援
- ・SC,SSWによる個別面談

⇒安全・安心な居場所の確保、丁寧な支援による自己肯定感の向上、学習機会の保障



- ・本人としてはどうありたいのかという主体的意思(希望や願い)
- ・本人が持っている強み(リソース)や興味・関心

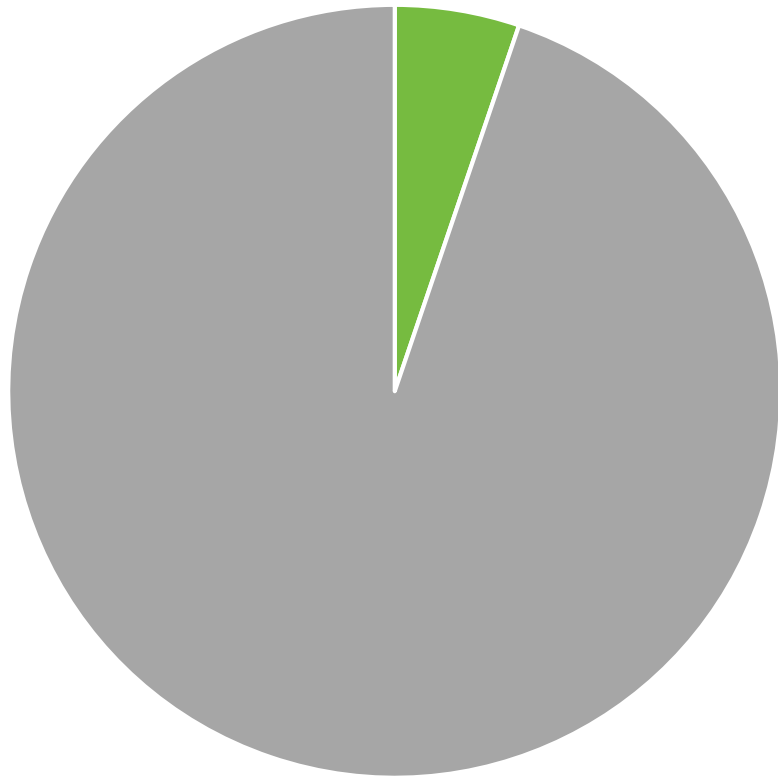
⇒不登校児童生徒の気持ちを理解し、思いに寄り添いつつ、アセスメントに基づく個に応じた具体的な支援を行うことが重要

・不登校で苦しんでいる児童生徒への支援の第一歩は、将来の社会的自立に向けて、現在の生活の中で、「傷ついた自己肯定感を回復する」、「コミュニケーション力やソーシャルスキルを身に付ける」、「人に上手にSOSを出せる」ようになることを身近で支えることに他なりません。

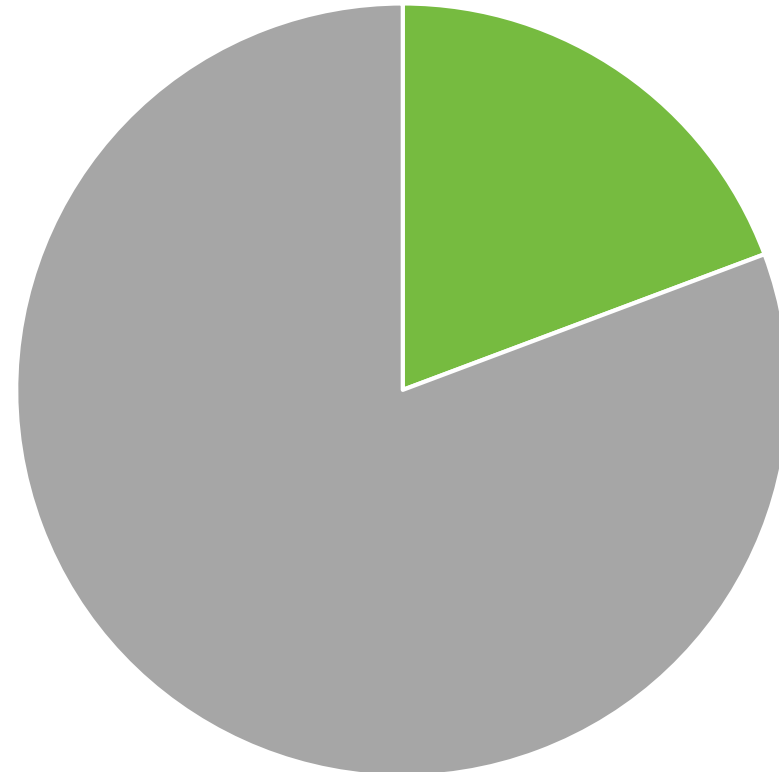
(「生徒指導提要」文部科学省 令和4年12月 を基に学校が作成)

(参考) 枚方市の校内ルポ

校内ルポ利用人数



小学校
5.5%
14人



中学校
23.9%
116人

ICTを活用した不登校児童生徒への対応

VISION(めざすところ)

「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立することをめざす

MISSION(方向性)

個々の不登校児童生徒の状況を適切に把握し、多様な支援を行う

VALUE(具体的な方策)

不登校児童生徒への適切なアセスメント

ルポ

- 保護者対象Google Classroom
- ①保護者向け「ルポ予定表」「通知文」などの配信
←学校の周知ミス、遅れの解消
(学校を通しての紙媒体での周知に加えて、オンラインにて周知する。)
- ②出席確認等にメールを活用

オンライン

- 保護者・教員対象MEET
- ①オンライン学校面談
- ②オンライン担任連絡会
(リアル版との選択制)
- ③オンライン保護者懇談会
(リアル版との選択制)
- ④オンライン教育相談

対面・オンライン

- 児童生徒対象
- ①学習
・ポケモンプログラミング【2学期から開始予定】
・桃太郎電鉄【2学期から開始予定】
・Minecraft

対面・オンライン

- ②ルポ登室日記(例)
…iPadで作成も可

対面・オンライン

- Google Classroom「ルポポ」
Google Classroom上でのメッセージのやり取り、課題の配信など

オンライン

学校の授業のオンライン配信

オンライン

メタバース登校について検討中

オンライン

- 各種フリースクールの紹介
- eスポーツ【2学期から開始予定】

対面・オンライン

不登校に関連する相談窓口

子どもの笑顔を守るコール (児童生徒支援課)	<ul style="list-style-type: none">・ 学校園生活全般についての電話相談・ 月～金 9:00～17:00『教育安心ホットライン』 072-809-2975『いじめ専用ホットライン』 072-809-7867
教育相談 (教育文化センター：2F)	<ul style="list-style-type: none">・ 専門的な知識及び経験を有する相談員による子どもの発達や性格行動面についての心理相談や心理検査・ 要予約 (学校→市教委へ連絡)
枚方市子どもの育ち 見守り室 (となとな)	<ul style="list-style-type: none">・ 子どもとの接し方・親子関係・友達関係・発達・行動上の問題などの相談・ 月～金 9:00～17:30・ 要予約 (まずは電話で相談 050-7102-3221)
青少年相談 枚方公園青少年センター	<ul style="list-style-type: none">・ いじめ、不登校、ひきこもり、中途退学、人間関係等の相談・ 第1月曜日 (17:00～19:50)、第3月曜日 (16:00～19:50)・ 072-844-7830
こころの健康相談 (保健所 保健医療課)	<ul style="list-style-type: none">・ こころの病についての相談を医師や精神保健担当職員が行う。・ 072-807-7623
大阪府中央子ども 家庭センター	<ul style="list-style-type: none">・ 子どもや家庭についての相談、おおむね25歳までの青少年についての相談・ 月～金 9:00～17:45・ 072-828-0161